

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月29日
事業者名 (登録単位)	株式会社大林組
所在地 (登録単位)	東京都港区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑦進捗 (次回)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支えるための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルに向けて以下の取組みを実施。 <ul style="list-style-type: none"> 軽油代替燃料や省燃費建機の導入 再生可能エネルギーの利用 低炭素資材（自社開発した低炭素型コンクリート：クリーンクリートなど）の開発・適用 ZEB（net Zero Energy Building）の推進 木造・木質化建築の推進 再生可能エネルギー事業や水事業、PPA事業の推進 TCFD提言に賛同し、シナリオ分析に基づいた情報開示を行い、脱炭素に向けた取組を推進。 <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> OBAYASHI コーポレートレポート2023 P51-58 https://www.obayashi.co.jp/ir/upload/img/ir/2023.pdf つくる、とどける 大林のグリーンエネルギー事業 https://www.obayashi.co.jp/green_energy/ 	<ul style="list-style-type: none"> 自社のカーボンニュートラルに向けては、継続して現在の取組み内容を進めるとともに、建機の電動化やバイオディーゼルの導入を検討していく。 再生可能エネルギー事業や水事業で得られた知見やノウハウを建設事業において活用し、顧客へのソリューション提案に繋げていく。 TCFD開示においては、改めてシナリオ分析を行い、財務インパクトの定量的な開示を予定。 <p>【KPI（目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計施工案件におけるZEB認証件数→2024年度：5件 当社グループが保有する国内賃貸物件への再生可能エネルギー電力導入率 <ul style="list-style-type: none"> →①2026年度までに賃貸オフィスビル100%②2030年度までに全賃貸物件100% 再生可能エネルギー事業による安定供給年間発電量 <ul style="list-style-type: none"> →2024年度：781,400MWh Scope1+2 排出削減率（2019年度比） 2030年：▲46.2% Scope3 排出削減率（2019年度比） 2030年：▲27.5% ※Scope1+2については、2050年▲100%も目指している。 	KPIの達成状況により確認	「今後の取組み内容と目標」に記載のとおり ※ZEB認証件数および再生可能発電量については、2030年度までの目標値設定について検討中。	
社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍支援に向けた目標を設定している。	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進法に基づく第二次行動計画を策定し、女性管理職比率と技術系女性社員比率の目標を設定している。 日本経済団体連合会の「2030年30%へのチャレンジ」に賛同。女性社外取締役が3名活躍しているほか、2023年度には最上位幹部職である理事に女性3名が任用される。 <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある多様な人材が集まる（女性の活躍推進） https://www.obayashi.co.jp/sustainability/employee/hrm.html#section2 ダイバーシティ&インクルージョン 女性活躍 https://www.obayashi.co.jp/diversity_inclusion/torikumi.html ESGデータブック（人材） https://www.obayashi.co.jp/sustainability/esg_data.html#data02_2_1 	<p>現在の取組み内容を推進するとともに、以下の取組みを行うことで女性比率を増やしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性社員を対象とした意見交換会の実施 育休中の社員を対象としたセミナーの開催 女子学生を対象とした現場見学会やセミナーの開催 女子向けセルフリーダーシップ研修の開催 ロールモデルの発信 など <p>【KPI（目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 2024年度までに6.4% 技術系女性社員比率 2024年度までに12% 	KPIの達成状況により確認	「今後の取組み内容と目標」に記載のとおり ※現在、2030年度までの目標値設定について検討中	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	<ul style="list-style-type: none"> 企業倫理プログラムを策定しているほか、各種法令遵守規程、相談・通報制度の整備など法令遵守体制を確立。 年1回、当社グループ全社員を対象に企業倫理研修を実施し、周知徹底を行っている。また、研修受講率100%をKPIとして取り組んでいる。 重大な法令違反件数0件をKPIとして設定している 	<p>現在の取組み内容を継続する。</p> <p>目標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業倫理研修受講率100% 重大な法令違反件数0件 	KPIの達成状況により確認	現状設定している目標は2024年度までとしているが、企業倫理研修受講率100%、重大な法令違反件数0件はともに毎年継続して達成を目指すこととしている。	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域課題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	<p>まち全体を3次元の仮想空間上に再現し、現実のまちで収集した環境やエネルギー、人の動きなどのさまざまなリアルタイムデータをひも付けて、分かりやすく提供するまちづくりプラットフォームである「SCIM（エスシム、当社登録商標）」を開発して網島SSTを中心に様々なデータ活用サービスを提供している（運用実証）。</p> <p>また、より具体的な地域課題の解決に向けて、以下の取組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災の自分ごと化 網島・日吉エリアの3次元地図データを活用し、近隣小学校の総合学習と連携して「みんなで作る避難体験コンテンツ」のトライアルを実施。地域の防災を自ら考え、利他にも繋がる仕組みの受容性などを検証。 カーボンニュートラルの自分ごと化 SCIMで収集している屋外環境データと網島SST内集合住宅のエネルギーデータを分析・活用し、電力使用量予測と冷暖房運用レコメンドサービスを提供。「健康と省エネの両立」を目指し、家庭部門における省エネ行動・省エネ意識の浸透を支援。 <p>※上記運用実証は2024年3月末にて終了</p>	<p>2023年度までに実施したSCIMによるデータ活用サービスや地域課題解決に向けた取組みの実績を踏まえ、2024年度も行政機関、近隣教育機関、各種事業者、住民との連携を強化し、まちに関わる人が中心となるまちづくりサービスを検討・提供する予定。</p> <p>目標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な取組みが確定次第設定 	今後の取組により設定したKPIの達成状況により確認	具体的な取組みが確定次第設定	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月20日
事業者名 (登録単位)	東芝インフラシステムズ株式会社
所在地 (登録単位)	神奈川県川崎市幸区
業種	E（製造業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑦進捗 (次回申請 時に記述提 出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●自社の環境への取り組みを開示している。	ホームページにて環境マネジメント、気候変動への対応、循環経済への対応、生態系への配慮、環境報告書等の環境分野における取組を公開している	環境マネジメント体制の維持	ホームページにて公開	2024年度末（毎年度更新）	
社会	YK-S-7 顧客に対する配慮	●品質管理に関する取り組みを行っている。	ISO9001を取得している	ISO9001認定と運用を継続	ISO9001認定証	認定と運用の継続	
ガバナンス	YK-G-1 公正な経済取引	●公正な経済取引を行っている。	社員の行動の指針である「東芝グループ行動基準」の中に「賄賂の禁止」「知的財産権の尊重」を定めた定期的な教育を行っている	e-Learningによる定期的な教育の継続	受講履歴	2024年度末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	横浜市内の水再生センター付近の清掃活動を実施している	水再生センター付近の清掃を継続	活動写真	2024年度末	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月5日
事業者名 (登録単位)	戸田建設株式会社
所在地 (登録単位)	東京都中央区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請 時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●自社の環境への取組みを開示している。	「環境課題の解決により、グローバルに持続可能な社会の実現に貢献する」を環境方針に掲げ、環境リスク低減に向けた活動と、より良い環境の創造に向けた活動に取り組んでいる。	2030年度に向けて1.5℃水準のCO2削減目標を設定し、目標達成に向けた削減活動を進め、2050年度には、SBTイニシアチブのネットゼロ新基準（The Net-Zero Standard）に則り、10%未満の残余排出量をバリューチェーンの外で「中和（森林由来吸収や炭素除去技術等を活用）」し、事業活動におけるカーボンニュートラルの達成を目指す。	取組み内容や進捗状況を随時HPIに公開する。	2030年度まで。	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営推進体制を整備している。 健康経営課題達成に向けた重要指数（KPI）及び具体的な数値目標を定めている。 社員が直接相談できる外部相談窓口の他に、希望者に精神科産業医や保健師との個別面談を実施し、適切な医療機関の紹介・連携等の体制を整備している。 2016年度より「ストレスチェック制度」を導入している。（2023年度受検率94.3%） 人間ドック費用、健康診断再検査費用、婦人科検診費用、禁煙外来費用の補助を行っている。 精神科産業医や保健師によるメンタルヘルス講習会を本社・支店にて定期的開催している。 	横浜市健康経営認証で、来年度は健康課題に即した取組みを実施し、施策状況を振り返る為の会議体を設けて、実施状況を随時確認する事で、来年度以降にランクアップを目指す。	今年度・来年度の結果通知は2月に来る予定。	来年度のランクアップの申請期限は9月中なので、取組みの進捗が順調であれば期限内に申請手続きを行う。結果通知は2月予定。	
ガバナンス	YK-G-1 公正な経済取引	●公正な経済取引を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 戸田建設グループ行動規範を策定し、「戸田建設グループのコンプライアンス」として冊子にまとめ、社員に配布し、コンプライアンス体制について教育を行っている。 委員長の社長からなるコンプライアンス委員会を組織し、社員に対しコンプライアンス教育を実施している。 社員に対しコンプライアンス意識調査アンケートの実施している。 営業活動等に取組む前に、コンプライアンス確認書を作成し、公正に業務を遂行するよう求めている。 	継続して、全社員を対象としたeラーニング等でコンプライアンス教育の実施や、コンプライアンス意識調査アンケートを実施する。	コンプライアンス意識調査アンケート結果をHPIに公開する。	2025年3月迄予定。	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●横浜市と連携し、地域課題解決に向けた取組みを行っている。	横浜市が取り組んでいる「ハムロード・サポーター」に参加し、週1回・30分程度、社屋付近の道路清掃活動を行っている。	継続して清掃活動に参加できるように、管理・運営を行う。	年度末に実施状況の活動報告書を提出する。	2024年3月31日(予定)	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月1日
事業者名 (登録単位)	横浜信用金庫
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市中区
業種	J（金融業，保険業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑦進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	「横浜信用金庫脱炭素化宣言」を公表し、2050年度末までの二酸化炭素排出量実質ゼロ（省エネ法に基づく報告）、再エネ電力利用率100%を目標としている。再エネ電力の利用を進めている。	2030年度までに排出量削減率、再エネ電力利用率ともに50%を中間目標としている。再エネ電力の利用拡大・省エネ設備への更新等により、排出量削減を進める。	省エネ法に基づく定期報告による。取組実績は当金庫ホームページにて開示している。	2050年度末	
社会	YK-S-2 多様な人材の活躍	●外国人、障がい者、高齢者等、社内の多様な人材の活躍支援に関する取組みがある。	子会社に障がいのある方が特性に合った能力を発揮し、活躍できる職場「よこしんSTARS」を創設するため（2024年4月予定）、準備・環境の整備を進めている。	「よこしんSTARS」創設後、特例子会社として認定申請を予定。当金庫グループ全体で障がい者が特性に合った能力を発揮し活躍できる環境整備を進める。2024年度に6名、2025年度に12名の障がい者雇用を目標とする。	年度末の雇用人数を把握することで、当金庫での障がい者の活躍を確認する。	2025年度期初	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取組みが進められている。	業務継続基本計画等を策定し、全役職員を対象としたBCP訓練を年に2回程度実施している。BCPの一環として、システム障害に備え、システム障害時緊急対応マニュアルを制定、システム障害訓練を行っている。	左記項目の継続実施等、取組みを推進し、事故・災害などの発生時の事業継続体制の整備・強化を行う。	随時担当部署を中心に各種施策が適切な状態であるか見直しを行う。年度ごとにBCP訓練・システム障害訓練等、訓練実施状況を確認する。	期限は設けず、1年ごとに検証する	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●横浜市と連携し、地域課題解決に向けた取組みを行っている。	横浜市「よこはま夢ファンド」横浜市社会福祉協議会「善意銀行」への寄付を通じ、地域で活動する団体等の支援を行っている。横浜市社会福祉協議会と連携協定を締結し、社会課題解決への取組みを行っている。	寄付により地域で活動する団体等の支援を継続して行う。行政、NPO、企業等の多様な主体と連携し、継続的な地域貢献活動の活性化を通じて地域の社会福祉活動を推進する。	年度ごとに取組み状況・内容を総括（確認）する。	期限は設けず、1年ごとに検証する	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月28日
事業者名 (登録単位)	株式会社関電工
所在地 (登録単位)	東京都港区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の省エネルギー化として低公害車を導入 ・EV100に加盟 ・パーキングエリアでのEV充電設備を構築 ・EV13台、水素車1台導入 ・省エネ運動・節電活動を実施している 	当社施設の脱炭素化（省エネ・創エネ等）を推進	設備の運用改善、設備改修の履歴を確認	2025年3月まで	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●職場における安全・衛生管理に取り組んでいる	・安全衛生管理規程、安全管理基準に基づき年度計画を策定し、PDCAを実践	安全衛生への取組みに関する当社ホームページの内容を充実	ホームページ上での確認	2025年3月まで	
ガバナンス	YK-G-1 公正な経済取引	●公正な経済取引を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「関電工グループ企業行動憲章（企業行動原則・社員行動指針）」を制定し、従業員に周知教育を実施 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している 	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライチェーンに対して公正な経済取引に関するガイドラインを提示し進捗をフォロー 	<ul style="list-style-type: none"> ・調達方針の開示 ・アンケート調査の集計・分析 	2025年3月まで	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県内の事業所で、毎月周辺美化活動を実施している ・交差点での事故撲滅活動として、交差点での旗振りを実施して、神奈川県警より表彰（2021.11.11） ・地域の防災・防犯・清掃活動に参加している 	現在の取組みを継続	活動履歴の確認	2025年3月	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月20日
事業者名 (登録単位)	株式会社バイオフードリサイクル
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市鶴見区
業種	F（電気・ガス・熱供給・水道業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請 時に記述提 出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-6 製品・サービスを通じた環境問題の解決	●製品・サービスの提供を通じて環境問題の改善に貢献している	<ul style="list-style-type: none"> 食品廃棄物由来のバイオガス発電によりカーボンフリーな電力を創出している。2023年5月には780kWガスエンジン1台増設することで、最大発電量約1,700万kWh/年（+600万kWh/年）、化石燃料比7,800t（+2,300t）のCO2を削減している。 2022年度から再生電力に切替を行い、工場使用電力の100%をカーボンフリー化。 従来排水処理や焼却処分をしていた発酵残渣を2022年9月に肥料登録。処理にかかるエネルギーの削減、また、廃棄物由来の肥料であり安価に提供できることから農業分野の経済性改善にも貢献した。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 毎月の発電量とCO2削減量を毎月公表する。 2) 脱水污泥の3割肥料化を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) HP上で公表 2) 脱水污泥の発生量及び肥料搬出量を集計 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 每期継続 2) 2024年度末 	
社会	YK-S-7 顧客に対する配慮	●顧客からの要望を聞き入れ・改善するための体制を整備している。	・既存の設備で処理が困難だったブロックチーズなどの品目があったが、顧客からの需要の高まりを受けて、溶解装置を導入し2021年度に処理を開始。	1) 肥料製造の際に混入する異物を減少させる為、スリッドセーバーの目開きを4⇒1mmに変更し肥料品質改善を行う。	1) 設備導入前後の肥料の品質調査	2024年度末	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ・工場の操業状況やSDGsへの取組み、環境目標達成に向けた事業活動の成果をまとめた「環境活動レポート」を作成しHPに公表するとともに顧客への配布を行った。 ・2022年度は安定操業による受入量増加と食品廃棄物処理量1トンあたりの薬品使用量低減を実施し、2021年度から約0.4kg/(t-受入量)の使用量を低減に成功。 ・2022年1月に工場冷却フローの構成を変更（チラー⇒冷却塔）することで、施設全体の電力消費量を5.6%削減した。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 工場設備の適正出力での運転を徹底し、食品廃棄物処理量1トンあたりの電力使用量を2022年度比3%低減。 2) 適正な使用量の徹底し、食品廃棄物処理量1トンあたりの薬品使用量を2022年度比3%低減。 3) WEB会議や電子契約システム等でペーパーレス化を推進し、紙使用量を2022年度比3%削減する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 処理量及び電力使用量を確認 2) 処理量及び薬品使用量を確認 3) コピー機にて印刷枚数を集計 	1、2、3) 2024年度末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	・近隣の中学校を対象とした環境教育目的の工場見学の実施や、国・県・市主催の見学会の受け入れを積極的に行い、2018年の操業開始から2023年3月まで、4,400以上の見学者を受け入れた。	1) 継続して、教育機関の工場見学を年3回以上実施する。更に、2025年度までに、総受入数7,000人以上を目指す。	1) 2025年度末に見学者数を集計	2025年度末	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月20日
事業者名 (登録単位)	ルーデンス株式会社
所在地 (登録単位)	横浜市西区
業種	R（サービス業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請 時に記述提 出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-6 製品・サービスを通じた環境問題の解決	●製品・サービスの提供を通じて環境問題の改善に貢献している	弊社における「製品・サービス」とは、イベント等におけるソリューション提供です。イベントは廃棄物・ごみが多量に発生する機会です。それを削減するために、リース品を活用したり、余剰品をリサイクルしたり、廃棄する場合も、有資格の廃棄事業者に適正な廃棄を依頼しています。また、印刷物を制作する場合、サインージ等を提案して	イベントにおけるごみ・廃棄物について、社内で勉強会、ワークショップなどを実施します。 内容としては、自分事になるように、例えば、社員自身が担当しているイベントや展示会などの「むだ」をさがし、それを「むだ」にしないために、どのような解決策があるかをディスカッションをすることで、自身が担当している業務で「エコ」だと感じるものを探し、それを出し合うなどの場を創出します。	各人からレポートを提出してもらいます。また、それらをまとめて、弊社公式WEBのコラムなどに掲載します。	2025年3月まで	
社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍支援に向けた目標を設定している。	現在、女性役員は1名、男性役員4名です。女性の役員1名追加誕生に向けて準備中です。弊社社員の男女比は1：1で、給与等について男女の差はなく、業績ベースでの評価をしているため、そもそも女性が活躍する場面が多い職場となっています。また、現状、役員が社員しかおらず、いわゆる「管理職」が男女ともいないため目標設定もできず、採用率については、正規雇用については、この2年では、50%が女性となっています。	まずは、女性役員誕生に向けて取り組みます。 現在、産休からの復帰を目指している社員もあり、引き続き、女性が活躍しやすい企業をめざしていきます。	公式サイトにて発表	・2025年9月 (弊社決算期における来々期スタート)	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	現在は、法令順守のためのルールが明文化され、常識の範囲では守られていると考えています。また、法令順守の考え方は社内に浸透していると考えています。	改めて、コンプライアンス研修を実施するなどによって、法令遵守についての意識を強化していきます。特に法改正などによって、以前とは違うものに関して改めて知ることなどは大切だと考えます。弊社の場合は、例えば、著作権法や景品表示法、警備業法など、直接業務にかかわることから始めます。	実施レポートによって理解度等を図ります。また、実施内容などは、ウェブサイト、SNSなどに発信します。	2025年3月まで	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●横浜市と連携し、地域課題解決に向けた取組みを行っている。	現状は、「連携」ではなく、受託事業の中で地域課題解決に向けた取組みを行っています。弊社の場合は、中小企業であり、特に業界団体に所属していませんので、横浜市との連携協定を結ぶことはできないように思えます。役員や社員の業務外の活動として、地域課題解決に向けた取組みがあります。例えば、旭区内で放棄農地を活用して、オリーブ畑を作っている農家に協力し、オリーブの植樹、収穫のボランティアを行ったり、利活用を考える場を創ったりしています。弊社からは、3名が関わっています。	今後は、例えば上記の活動をヨコハマSDGsデザインセンターと連携して実施したり、そのほかの取組みを会社として支援するなど、活動を広げていきます。目標としては、2024年度に、貴センターと連携して何か一つプロジェクトをはじめたいと考えます。	今後相談させていただきます。	2025年3月まで	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月19日
事業者名 (登録単位)	株式会社フォーバル首都圏第三支社
所在地区 (登録単位)	東京都渋谷区
業種	G（情報通信業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動(脱炭素)への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動(脱炭素)への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	2022年7月に当社が発表した「2030年カーボンニュートラル宣言」及び「環境基本方針」に基づき、すべての事業活動・サプライチェーンを通じて発生する温室効果ガス(GHG)の削減を心がけ、地球環境の改善に取り組むことにより、永続的な社会価値の創出を目指しています。	当グループでは、シナリオ分析や GHG 排出量算定の結果を踏まえ、パリ協定で謳われているWB2°C水準(Well Below 2°C:2°Cを十分に下回る水準)への配慮と、1.5°C目標の実現に向けた日本政府の2030年度 GHG 排出量 46%削減、2050年カーボンニュートラルという目標も見据えて、2020年を基準年として、2030年までにScope1とScope2のGHG排出量を100%削減してカーボンニュートラルを達成することを2022年7月に目標として定めています。	scope1.2でのGHG排出量可視化を行う	2020年を基準年として、2030年までにScope1とScope2のGHG排出量を100%削減	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	当社では、中小・小規模企業のリーディングカンパニー(中小・小規模企業のDXアドバイザーのリーディングカンパニー)として、お客様の人的資本経営を支援するために、まず自社が率先して人的資本について学び、理解を深めることから始めました。そして取組みを進めていく中で、ISO 30414資格取得者を社内に養成するべきと考え、去年2月にはフォーバルグループに所属する5名が「ISO 30414リードコンサルタント/アсессール」認証を取得しました。	中途全体、1~3年目の社員、部署、職種、拠点別など、さまざまな分析をし、2031年期末までに離職率を5%以下に目標を立て、対策に取り組んでいます。 対策： 1.社員個々のキャリアプランの見える化(タレントマネジメントシステム) 2.上司とのキャリアプラン面談の実施(1to1) 3.個々の能力の見える化(コンピテンシーの設定) 4.キャリアアップのための教育制度の充実(階層別・選抜型など) また当社では、男性が育児に積極的に参加できるように、休業制度の充実を図り、女性だけでなく、男性育児休業取得率を政府目標同様に2025年度までに50%、2030年度までに85%に向けて、制度の見直しにも取り組んでいます。	離職率の可視化。 育児休暇制度の利用率を集計。	2031年期末まで	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	当社では、情報の適切な保存・管理に向けた各種社内規程を整備運用しており、特に個人情報保護体制の維持、強化のため、当社の全従業員を対象に毎年eラーニングによる教育研修を実施しています。また、社員が当グループの一員として、自信と自覚をもち、正しく、最新の知識でお客様へ利益貢献していくために、会社推奨資格を設けており、個人情報保護士認定試験も受けています。さらに、「情報セキュリティ理解度チェック」もグループ全体で定期的に実施しています。	フォーバルパーソンとして、法令遵守はもちろんのこと、正しい知識を身につけ、言葉もしっかりと理解した上でお客様に説明できるように研修を実施しています。 研修対象者の受講率は100%を達成できるように進捗管理や関連部署とも協力しながら目標達成に心がけていきます。	研修受講率の集計	2025年度まで	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域問題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	顧客同士のビジネスを繋ぐビジネスマッチングを通じて、地域産業の活性化促進に取り組むとともに、顧客の経営課題に対する伴走型支援を行うことで、地域企業の持続的発展に寄与することを目指します。	顧客に対し、SDG sへの正しい理解と取組みの促進を行い、顧客がSDG sウォッシュに陥らないよう持続的な支援を行ってまいります。またそれらの一環(YK-S-5)として自社のみならず、人的資本経営への取組み促進によって能力開発や教育訓練の機会を提供することで、人材の確保と定着を図ります。	令和6年2月1日以降に公募されるY-SDGs認証において、顧客の認証取得数を可視化します。また人的資本経営の促進においては、長期的かつ持続的な取組みが必要と考え、顧客(及びその経営者)と「事業成長に必要な取組みであり、自ら取り組むべき」と意志判断をした顧客の数を集計します。	次回の更新まで	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月19日
事業者名 (登録単位)	株式会社紅梅組
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市西区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	デマンドシステムを利用し電力需要を効果的に管理し、電力供給の安定性を確保し電力の効率的な利用を促進する。これを組織として実践する事で社員の脱炭素意識向上を目指す。	1年目：デマンドシステムの習熟、データ収集 2年目：スケジュール設定の見直し 3年目：運用方法・目標需要電力値の見直し	デマンドシステムで定期的に各電力計の数値を記録し、次年度目標に反映させる。	3年間を1サイクルとし、見直しを行う。	
社会	YK-S-6 サプライヤーへの配慮	●サプライヤー（取引先）の事業活動や環境・社会への取り組みを理解し、サプライチェーン全体で社会的責任を果たすために取り組んでいる	協力的会社・調達先等（紅和会）と協働し、法令遵守や環境負荷低減、人権尊重などに配慮しながら建設業を営んでいる。また、作業所における安全パトロール、安全衛生協議会等の場でサプライヤーとの意見交換や指導・助言を行っている。	パートナーである協力的会社への支援として労務安全書類の提出をシステム化し「ビルディー」を採用して書類作成の効率化、ペーパーレス化、多様化を実現とキャリアアップシステムによる技能者支援を実施する。さらに当社のホームページにパートナー専用リンクを作り、メッセージを伝達すると共に当社専用書式をダウンロードして効率化を図る。	当社の調達方針、調達方法の理解度や社会的責任への取り組みを安全衛生協議会等において確認していく。また、「ビルディー」システムの導入状況や建設キャリアアップシステム利用状況を確認していく。	2026年度を目途として、「ビルディー」導入割合をパートナーの7割以上を目標に掲げる。	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取り組みが進められている。	当社が加盟し参加している横浜建設業協会においてはBCP訓練を実施し、災害発生から復旧までの災害対応能力の向上を図ることで事業の継続力を高めている。	今後も業界団体で実施するBCP訓練に積極的に参加し、災害時の復旧活動に寄与するよう努める。また当社自体の業務を継続できるよう実態に即したBCPを策定する。	実施した訓練等の記録、自社のBCPの策定状況を随時確認する。	年度末に計画の実施状況を確認、見直しを行い次年度の計画を作成する。	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	2018年度より横浜市PFI事業の代表企業として携っており、宿泊施設をメインとした施設で、横浜市内小学校の体験学習や市内外の一般利用者数は増加傾向にある。	横浜市PFI事業においては、建設業を主な業務として役割を果たし、大規模改修工事完工後15年7ヶ月の事業完了を目指す。	毎月1回、横浜市担当者とSPCにてモニタリング会議に参加し、建物躯体の安全性の確認、その他保守に関するアドバイスを実践し、主な利用者である横浜市民に、建設会社として安心安全を提供し事業完了を目指す。	横浜市への施設引き渡しである2035年3月まで。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月13日
事業者名 (登録単位)	藤田観光株式会社 横浜桜木町ワシントンホテル
所在地 (登録単位)	東京都文京区
業種	M（宿泊業，飲食サービス業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-4 廃棄物・有害化学物質の管理・3Rの推進	●廃棄物・有害化学物質を適切に管理している	フロン排出抑制法に基づき、機器の点検、廃棄の際の処理に関して適切に管理	事業において発生する不用品の再利用を推進 2026年3月末までに4種類の不用品リサイクル、またはリサイクル製品の使用を開始	3Rの取り組みが4種類実施されている状態 社内利用の場合は写真等で記録、社外利用の場合は受領証等の記録を保存	2026年3月末まで	
社会	YK-S-5 従業員の人材育成・能力強化	●従業員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している	1.全従業員が利用可能な通信教育制度を年間を通して実施 2.藤田観光本社主催の各種集合研修制度の利用（昇格者研修・階層別研修、ノーマライゼーション研修他） 3.特定の資格取得に対する報奨金制度有り。	現在の取組みに加え、全従業員が利用可能な事業所独自の研修制度の運用開始。 1.WEBを活用した隙間時間で実施可能な簡易的研修を複数種類導入 2.新規採用者等に対する事業所における新たな研修を開始 上記1.2については合わせて年4回実施を目指す。 3.従業員のヘルスリテラシー向上のために有益な情報提供の仕組みを構築	・新規の研修が2024年度にスタートし、2025年度には4回実施、以後継続実施 ・研修記録で、研修参加者と参加日時、その他次回への参考となる情報等の保存	2026年3月末まで	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	日々の営業の中で大量にゴミとして発生するペットボトルキャップを回収。 NPO法人に寄付してフクチンと交換する取組みに協力している。 また地域行事への協力として毎年伊勢山皇大神宮の行事等に参加・協賛している。	横浜市と締結している「津波発生時における施設等の提供協力に関する協定書」「災害時における施設等の提供協力に関する協定書」に基づき、あらゆる災害を想定した災害避難者の一時受け入れ態勢の充実に係る取組として以下を実施する。 1.災害のパターンに応じたマニュアル作成 2.備蓄品の増強 3.災害避難者受け入れを想定した防災訓練の実施	マニュアル・備蓄品は現物確認、防災訓練は実施記録により確認する。	2026年3月末まで	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域問題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	近隣企業の商品や市内の観光施設の入場券をセットにした他社コラボ宿泊プランやレストランメニューを積極的に推進し、地元企業と一緒に地域を盛り上げ、地域での雇用を増やし、地域が元気になる取組を行っている。	地産地消の取組の強化 現在の取組みに加え、横浜市や近隣地域の食材を使用した地産地消の取組を推進する。現在は相模豚など一部近隣食材を使用しているが、スポットメニューを含み横浜産または神奈川県産食材の使用を新規で3品追加する。	近隣地域産の食材を用いたメニューを新規で3品を開発 使用状況は納品書等で確認可能	2026年3月末まで	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月13日
事業者名 (登録単位)	須藤工業株式会社
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市鶴見区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●環境マネジメント体制を構築している。	「ISO14001」環境マネジメントシステムに関する認証を取得・継続している。道志の森サポーター制度に登録している。	「ISO14001」の認証、道志の森サポーター制度の参加を継続する。	自社ホームページでISO認証ロゴマークを掲載。横浜市水のふるさと道志の森基金サイトで確認。	2025年度末	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	横浜健康経営認証2023に於いて、クラスAAを取得。安全衛生委員会で職場の安全衛生点検実施している。	横浜健康経営認証、安全衛生委員会で職場の安全衛生点検を実施を継続する。	自社ホームページ健康経営認証ロゴマークを掲載、安全衛生委員会議事録で確認。	2025年度末	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	横浜型地域貢献企業認定を受けている。	横浜型地域貢献企業の認定を継続する。	自社ホームページで横浜型地域貢献企業認定ロゴマークを掲載で確認。	2025年度末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●横浜市と連携し、地域課題解決に向けた取り組みを行っている。	横浜建設業協会に加入し、地域の防災・防犯・etc活動に参加している。	横浜建設業協会に加入し、地域の防災・防犯・etc活動の参加を継続する。	横浜建設業協会HPおよび防災協定書で確認。	2025年度末	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月6日
事業者名 (登録単位)	新興電設工業株式会社
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市西区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑦進捗 (次回申請時に記述)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●環境マネジメント体制を構築している。	<ul style="list-style-type: none"> ●2022年7月、環境省『エコアクション21』に認証登録され、環境マネジメント体制を構築している。 ●環境保護のため、毎年「横浜市水のふるさと同志の森基金」への寄附を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境省『エコアクション21』に継続して取り組み、適切な産業廃棄物管理と廃棄物削減に取り組めます。 ●継続して、「横浜市水のふるさと同志の森基金」への寄附を実施し森林保護に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●『エコアクション21』認証登録証にて確認 ●寄附者一覧にて確認 	2026年3月	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●2023年3月『横浜健康経営クラスAAA認証』取得【認証期間2025年3月31日まで】 ●2023年8月神奈川県産業保健総合支援センターの講師による「転倒・腰痛災害防止研修」を実施。研修前後に、アンケートを実施し、健康課題の把握と健康保持増進対策を行なった。 ●2023年10月に神奈川県産業保健総合支援センターの講師による『メンタルヘルス対策研修』を実施。 ●2023年3月 経済産業省『健康経営優良法人2023』認定取得 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も外部団体と協力しながら、年1回以上、健康に関する研修を実施します。 ●認定関係は、継続して申請を進めていきます。 	●実施報告書・認定証等にて確認します。	2026年3月	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年「横浜市水のふるさと同志の森基金」と「公益財団法人横浜市芸術文化振興財団」へ寄附を実施。 ●2023年より「認定NPO法人横浜子どもホスピタリティ」と、「NPO法人WooMoo」に寄附を実施。 <p>上記の寄附は、弊社が横浜市等より受注した電気設備改修工事等で銅線屑等の撤去時に発生した収益を還元している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中小企業庁のBCP事業継続計画を策定し、『事業持続力強化計画認定』を受けている。 	●今後も継続して、社会貢献、地域貢献を実施すると同時に、寄附活動を継続実施します。	●認定証・寄附証明書等にて確認	2026年3月	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な地域清掃活動（月1回以上）を実施している。 ●本社のある横浜市戸部町内会の例祭への寄附と、本社の駐車場の場所を無償で提供している。 ●2021年3月、2022年1月と8月、2023年1月と8月、2024年1月に神奈川県内、横浜市内の学生に職場見学とインターンシップの機会を提供。本業の電気工事と管工事、環境問題や廃棄物への取組を説明した。その他、工事現場への訪問も行なった。 ●2023年11月に、不登校児童のために『子どもの居場所事業Tsubame』を行なっている「NPO法人WooMoo」と、横浜市の子どもたちを支える活動へのパートナーシップを結び、寄附に加えて『子ども体験講座』を実施している。 	●上記の活動に継続して取り組むと同時に、新たな地域貢献活動を実施する。	●寄付証明書・実施報告書・ホームページへの掲載等	2026年3月	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月1日
事業者名 (登録単位)	特定非営利活動法人みなみ区民利用施設協会
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市南区
業種	R（サービス業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●自団体の環境への取組みを開示している。	●LED化や再生可能エネルギーの使用状況等について協会のウェブサイトで公開している。	●ウェブサイト上に、協会及び各施設が行っているSDGsの取組についての紹介ページを作成し、具体的な取組等を公表する。	協会ウェブサイトへの掲載を確認する。	2024年度末	
社会	YK-S-4 多様な働き方の促進	●多様な働き方を促進するための取組みがある	●常勤職員は65歳定年となっている。 ●常勤職員は1週当たり5日勤務。	●常勤職員の定年を70歳まで延長する。 ●本人が希望した場合には1週当たり4日勤務を可能とする勤務体系を導入する。	就業規則等の改正を確認する。	2024年度末	
ガバナンス	YK-G-2 情報セキュリティ	●情報セキュリティ対策を行っている。	●ウェブ予約システムを導入している施設及び協会事務事務局において、専用機器導入によるウェブセキュリティ対策を実施している。	●機器更新を契機にアップグレードを行い、ウェブフィルタリング機能を追加するなど対策を強化する。	ウェブフィルタリングの運用状況をモニタリングする。	2024年度末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●横浜市と連携し、地域課題解決に向けた取組みを行っている。	●管理運営する施設において、SDGsや地域福祉保健計画等の市施策の推進に貢献する事業、地域団体と連携した事業を実施している。	●SDGsや地域福祉保健計画等の市施策の推進に貢献する事業、地域団体と連携した事業の実施数増加及び内容充実を図る。	横浜市のウェブサイトで公表している指定管理施設の事業計画書（自主事業計画書）や協会の事業報告書で実施状況を確認する。	2025年度末	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月14日
事業者名 (登録単位)	株式会社明誠建設
所在地区 (登録単位)	横浜市南区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑦進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた取組を進めている。	照明器具のLED化やエコカーへの切り替えに取り組んでいる	エアコン温度の社内統一や雨水を活用した花壇への水やり等、更なる節電・省エネに取り組む	削減効果を数値化して確認	2025年度末	
社会	YK-S-7 顧客に対する配慮	●品質管理に関する取り組みを行っている	品質マネジメントシステムISO9001を有効に運用している	ISO9001の運用を継続し、新たなリスクや機会に対して改善を図る	更新審査による登録証の取得	2026年1月	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	住民説明会の実施や非営利団体への寄付、被災地への復興支援を行っている	社会貢献活動を継続し、横浜型地域貢献企業の最上位として引き続き企業の社会的責任を果たす	ホームページ上での活動報告	2025年度末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	地域の防犯活動に参加し、定期的に近隣の清掃活動もを行っている	地域の防犯活動や清掃活動を継続しつつ、地域学生の職業体験を受け入れていく	横浜型地域貢献企業のCSR実施計画書のシステム評価	2026年5月	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月27日
事業者名 (登録単位)	松村株式会社
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市中区
業種	I（卸売業，小売業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑦進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●環境マネジメント体制を構築している。	施設内の蛍光灯をLEDに変更している。トイレ・階段のLEDには、人感センサーをつけて、省エネ化を実施している。 社用車1台を電気自動車に買い替えしました。	使っていない電灯の消灯に努める。 電気自動車を活用し、CO2排出量を減らす。	電気自動車の活用を増やす分、電気代は増える可能性があるが、その分ガソリン代が減るので、そこで確認する。	2025年までにガソリン代を20%減させる。	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	横浜健康経営認証AAAを再取得しました。令和6年4月から有効健康経営優良法人2024（中小企業部門）の認証を更新しました。	健康診断・人間ドックの血糖値の所見者を半分まで減らす。（所見者 8人→4人）	毎年、10月・11月に健康診断・人間ドックを実施する。 その結果の所見者を減らす。	2024年に所見者を8人→6人にする。 2025年に所見者を4人までに減らす。	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	弊社初代社長が中心となり、昭和39年に住吉町町内会を発足し、町内清掃を50年超の間欠かさず継続しております。	町内清掃を中心として、地域社会の環境維持に努める。	環境が維持できていないと、ゴミも捨てやすくなりますので、きれいな町を維持し続ける。	年間通して、維持していく。	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	毎年、近隣中学生の職場体験の受け入れをしています。（仲尾台中学校・吉田中学校） 若者サポートステーション（横浜市こども青少年局）より、社会的ひきこもり状態の若者の就業的自立の支援をしています。	継続し続けていますので、途切れさせないで維持していく。	以前に表彰を受けていますので、次の表彰を受けられるように継続していく。	毎年、中学生、若者の受け入れを継続する。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月23日
事業者名 (登録単位)	株式会社エコテック
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市港北区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述 提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動(脱炭素)への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-6 製品・サービスを通じた環境問題の解決	●製品・サービスの提供を通じて環境問題の改善に貢献している	<ul style="list-style-type: none"> ・築古住宅や福祉、保育施設の再生事業を推進（床再生・浴室再生・空調設備再生） ・エネテュース事業：工場施設_経年劣化による冷凍・空調設備の性能を回復させコンプレッサーのエネルギーロスを解消することで、「省エネ」「CO2削減」に貢献可能 ・自社事業のスピノフにて、廃タイヤリサイクル事業（法人：サムライカーボンズ（株）を設立）茨城県に工場を設置し、良質なカーボンブラック抽出。 ・保育施設床再生事業_園児の床：国土緑化推進機構へ売上の一部を寄与している。 	再生・リサイクル事業事業から、サーキュラーエコノミー（循環経済）となる仕組みを生み出し社会に貢献していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度毎で経営陣とのアセスメントを実施し情報共有から成果と改善点を評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年2月末にアセスメントを実施し目標達成の進捗を確認を実施する。 ・2025年3月を目標期限として実施している。 	
社会	YK-S-2 多様な人材の活躍	●外国人、障がい者、高齢者等、社内の多様な人材の活躍支援に関する取り組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人、障害者、求職困難者の雇用をしている ・横浜市NPO法人より、求職困難者の受け入れについて協力している ・多様な人材の活躍について管理職にマネジメント研修を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に障害者就労支援事業所を立ち上げを視野に情報収集やネットワークを構築している ・外国人採用の採用枠を広げていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度毎で経営陣とのアセスメントを実施し情報共有から成果と改善点を評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年2月末にアセスメントを実施し目標達成の進捗を確認を実施する。 ・2025年3月を目標期限として実施している。 	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取り組みが進められている。	<ul style="list-style-type: none"> ・創業33年目の現在。来年度より事業承継が決定している^{〔注〕}。 ・時期事業計画、また10年後の事業承継も計画をしている（まずは50年企業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・100年企業に向けた取り組みも進めていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度毎で経営陣とのアセスメントを実施し情報共有から成果と改善点を評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年2月末にアセスメントを実施し目標達成の進捗を確認を実施する。 ・2025年3月を目標期限として実施している。 	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域問題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の障害者福祉事業の活動を支援しております。 ・地域の学校、学童保育と連動した、SDGsイベント（サークルアクション）実施。 ・横浜市私立幼稚園、保育園への負担軽減を掲げたプロジェクト"eep"を実施 ・防災・被災年一回総合建設業者イベント参加（地域防災拠点_動物被災_賛助） 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市_学校、保育、福祉環境への更なる連携から地域社会へ貢献をします ・横浜市私立幼稚園協会に賛助会員として加盟し、老朽化した園舎の環境整備をサポートします。 ・空き家や古民家「床再生」について地域企業と連動し企画を推進します。 ・地域コミュニティー（町内会など）への協力も含め緊急事態などへの協力体制にも取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度毎で経営陣とのアセスメントを実施し情報共有から成果と改善点を評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年2月末にアセスメントを実施し目標達成の進捗を確認を実施する。 ・2025年3月を目標期限として実施している。 	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月22日
事業者名 (登録単位)	株式会社五六
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市西区
業種	K（不動産業，物品賃貸業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-3 水の効率的な利用・管理	●水の効率的な利用・管理を行っている	自社賃貸物件へ活水器を取り付けることで通常毎年実施する高压洗浄を削減、また給水管の更生にもなるため、更新工事による廃材も出さない取組みをしています。	活水器の代理店事業を通してより多くのマンション・ビル等での上記効果を促進していきます。ビルへの導入ではCO2削減のキャンペーンも展開していきたいと思ひます。弊社テナントビルへの導入では年間約140トンのCO2削減が可能という試算になっております。	導入件数	2030年	
社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	カフェ事業において女性社員を積極的に雇用し、店長職として活躍してもらっています。また、星槎高校と連携して高校生のインターン受け入れを毎年行っています。	パティシエのコンテストへの積極的参加を促し、結果に応じた報奨制度やモチベーションアップを図ります。	まずは10月開催のアワードでの成績。	本年10月開催のアワード（予選通過の場合、11月にブルガリア大使館にて開催される最終選考会での	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取組みが進められている。	事業継承は完了しております。	長期的な事業継続に向けて一番の課題は人材の確保及び育成であり、特に女性社員のモチベーションアップ、スキルアップを目指した施策を展開していきたいと思ひます。	面談等	2024年内	
地域	YK-L-3 横浜における文化・芸術活動の促進	●横浜地域において、文化・芸術活動に携わっている	自社テナントビルの1フロアを貸ギャラリーとして運営し、文化・芸術活動の後押しをしています。また、横浜中ロータリークラブの一員として毎年4月開催の障がい者作品展を主催しています。	引き続きアーティストの個展開催を後押しするとともに、今年は能登出身のアーティストと連携して、継続的な復興支援を目指して展示・チャリティイベント等を展開していく予定です。	イベントや寄付等の実績報告 https://www.instagram.com/gallery_n.mtmc/	単発的な寄付にとどまらず、現地の方々の心の平穏が訪れるまで、継続的な支援を目指します。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月22日
事業者名 (登録単位)	株式会社横浜電気工業
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市保土ヶ谷区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時 に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	当社所有の車は80%ハイブリッド車を導入しており、低燃費・CO2排出削減などの地球環境に及ぼす影響を低減し、環境保全を促進しております。	今後も地球温暖化防止を目指し、電気自動車・ハイブリッド車の普及促進をすため実施し、当社社員所有の車についても、低燃費を軸に地球環境に及ぼす影響等を理解してもらい、普及促進に努める。	毎月の燃料費(ガソリン代)の請求書により、確認している。	車の供給問題もあるが、2年以内に100%ハイブリッド車及びEV車導入を目標としている。	
社会	YK-S-7 顧客に対する配慮	●顧客からの要望を聞き入れ・改善するための体制を整備している。	各現場の現場代理人又は職長が経営者にかわり、顧客対応窓口としている。	社員一人一人が、会社の代表であることと、顧客ファーストを意識する事で、相談しやすい雰囲気作りを心掛け、顧客体験の向上によるリピート率のアップと当社のイメージアップに直結するために実施している。	課題解決を通じて、顧客満足度が高まり、自社の工事やサービスの改善につながり、再受注や単価アップといった収益増になり、総合評価・工事評定点等も上位を維持している。	来年度も3本以上の工事を受注し、総合評価・工事評定点等の上位を維持する。	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取組みが進められている。	主に災害発生に伴う事業中断を想定した業務及び現場での計画を策定しており、災害の大きさ等を考慮し、人命第一としている。公共建築物に対して、県公共建築物に係る地震時の点検協力業者として2年に1回の想定出動訓練の実施と市公共建築物に係る震災時の応急措置協力業者として毎年1回の想定出動訓練を実施しております。	災害を想定して事前にBCPを周到に計画し、訓練を行い、事業の継続・早期復旧を図ることが重要で、顧客の信用を維持し、高い評価を受けることとなり、企業価値の維持・向上につながるよう実施している。	緊急時でも中核事業を維持・早期復旧することを期待している。	継続的に毎年の想定出動訓練に参加する。	
地域	YK-L-3 横浜における文化・芸術活動の促進	●横浜地域において、文化・芸術活動に携わっている	横浜地域において、文化・芸術活動を行う個人や組織に携わっている。最近では横浜市芸術文化振興財団が運営する大佛次郎記念館の工事や横浜トリエンナーレに伴うイベント工事に携わっており、象の鼻テラスは、横浜市港湾局発注で当社が新築工事を行っており、現在も委託運営の（株）ワコールアートセンター様よりイベント工事の依頼や定期的イベント等に参加させて頂いております。	定期的開催されるイベント工事に参加し、横浜独自の魅力ある都市創造の為に社会基盤の整備を推進し、活力に満ちた市民生活の実現に少しでも協力できるように取り組んでおります。	アート活動とアートの力を活かし、子供達に受け継いでゆき、横浜の魅力を高め心豊かな市民生活の実現を現実にする。	毎年2イベント以上の工事受注と積極的にイベントの参加を目標としています。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月19日
事業者名 (登録単位)	株式会社放電精密加工研究所
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市港北区
業種	E（製造業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-6 製品・サービスを通じた環境問題の解決	●製品・サービスの提供を通じて環境問題の改善に貢献している	神奈川県内でのプラスチックリサイクル品の促進と県内木材資源の利用に取り組んでいる	神奈川県内の木材端材とプラスチックリサイクルを融合したバイオマスプラスチックを普及していくことで、地域資源の活用と石油プラスチックの減少を図り、地捨地消の促進を図る	神奈川県産バイオマスプラスチックの製品5点	2026年2月まで	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●職場における安全・衛生管理に取り組んでいる	安全。衛生委員会による活動と毎月1回、安全の日を制定してあり、各事業所で全社の労働安全・衛生状況の確認と労働安全・衛生の啓蒙活動を実施しております。また、特定業務でより安全な作業確保を行う為、規程化し、より安全意識向上と維持を図っています。	より安全な職場環境の構築と安全衛生意識向上の啓発活動ならびに安全教育の実施による労働災害の撲滅を目指します。	労働災害件数	2026年2月まで	
ガバナンス	YK-G-1 公正な経済取引	●公正な経済取引を行っている。	サプライチェーンにおいて公正な経済取引を行うためにCSR調達ラインの策定を行う。	サプライチェーンと対話を進め、双方での円滑な経済活動になるよう協議しながら有益な関係を構築していく。	サプライチェーン協議会の実施と取引アンケートの実施	2026年2月まで	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	現在、横浜市内では活動できていないが、他の自治体等では学校への環境啓発活動を行っている	横浜市内での活動の実施	横浜市内での活動の実施	2026年2月まで	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月19日
事業者名 (登録単位)	ミネ工業株式会社
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市南区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●自社の環境への取り組みを開示している。	エコアクション21を取得している	エコアクション21の継続	認定証	2025年	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	横浜市の健康経営の認証を受けており、今年度経産省の健康経営認定に向けて申請中	年1回の健康診断100%の維持 NO残業DAYに対する意識の向上	健康診断結果 勤怠管理で、NO残業DAYにおける 残業人数の把握・また結果を社内でも共有する	2025年	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取り組みが進められている。	BCP計画書作成・周知	BCP作成後も、継続的に改善し運用する	改善があればBCP計画書で確認	2025年	
地域	YK-L-1 横浜における雇用促進	●従業員の1/2以上が横浜市民である（非正規・パートを含む）	現在従業員の90%近くが横浜市民在住である	今後も、横浜市民の方を積極的に採用 また、遠方の方には近隣の推進を行う。	従業員名簿	2025年	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月16日
事業者名 (登録単位)	有限会社シダックス
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市中区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時 に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰において橋梁分野から内閣総理大臣賞を受賞したヤマダインフラテクノス社が開発した「循環式エコクリーンプラスチック」を早期から導入し、従来大量に発生していた産業廃棄物を最小限に抑え、その抑制量は、プラスチック処理面積1,000㎡あたり約40tとなり、二酸化炭素排出量の大幅抑制（1/40～1/50に削減）にも貢献している。 社用車としてハイブリッド車を積極的に導入している。 	<ul style="list-style-type: none"> 循環式エコクリーンプラスチック装置を追加取得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 機械装置取得実績 産業廃棄物処理費用の減少 	2026年3月末	
社会	YK-S-2 多様な人材の活躍	●外国人、障がい者、高齢者等、社内の多様な人材の活躍支援に関する取組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム人研修生をできる限り採用し、技術の取得を推進している。 自国へ連絡しやすいよう、WiFi付の社員寮を設置し、日本での生活が負担なく行え、日本の文化に少しでも多く触れられるよう社員全体でコミュニケーションを図っている。 60才以上の社員も雇用し、社員寮を利用してもらい、社員みんなでコミュニケーションを図るなど、高齢者向けの環境を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム人研修生をさらに3名以上採用する。 60才以上の社員も、積極的に採用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 社員採用実績 	2026年3月末	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	<ul style="list-style-type: none"> 1か月に1回、責任者会議を開催し、事件事故の未然防止を徹底している。 工事現場周辺のゴミ拾いなど、社会や環境に貢献する取組みを実践することで、社員一人一人のモラル意識の向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 責任者会議において、より一層事件事故に対する注意喚起を行うとともに、社員一人一人とコミュニケーションを図り、事件事故ゼロを達成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事件事故発生件数 	2026年3月末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> 少年野球チーム「横浜緑ボーイズ」を応援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き「横浜緑ボーイズ」を応援し、青年の育成に携わる。 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜緑ボーイズが健全に運営されていること。 	期限なし	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月16日
事業者名 (登録単位)	三興電機株式会社
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市神奈川区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-6 製品・サービスを通じた環境問題の解決	●製品・サービスの提供を通じて環境問題の改善に貢献している	まだ件数を数件だが、自家消費型の太陽光・蓄電池導入の提案・工事を行っている。	再生可能エネルギー事業として一つの「課」を立ち上げたい。 また、実際の工事でも自社の社員で出来るようにすることでコストでの勝負、品質の確保も担保できる。 まずは、そのためにも受注をし実績件数を増やしていきたい。	受注件数	2025年9月末	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●職場における安全・衛生管理に取り組んでいる	失敗や事故から学ぶとして事故事例等を活かし安全対策を行っているが、会社が設定する「安全方針」や事故防止スローガン、安全対策ポスターなどを所定の場所に掲示することに留まっていたり発信力が弱い	従業員の目につきやすい「階段の蹴込み板面」や「トイレの壁」部分など行動動線に合わせた箇所に事故防止スローガン、安全対策ポスターなどを掲示して常に従業員の意識に留まる工夫する。 社内の連絡ツールとして使用しているラインワークを活用して、いつでもどこでも事例やヒヤリハット等が見られるようにする。	ラインワークに蓄積された事故事例・ヒヤリハット 社内掲示物	2025年9月末	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取り組みが進められている。	具体的に経営状況や経営課題の可視化共に会社と成長してくれる幹部候補を育て、より強固な集団を構築中	経営課題い取り組みながら、具体的に進める財産（株式、事業用資産、資金等）の承継 無形財産（従業員や技術、ノウハウ、経営理念等）の承継	3年後の会長交代	第一目標として2027年9月末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	地域の高校生に対してインターンシップを行っている。	引き続きインターンシップやデュアルシステムへの積極的に受け入れる。継続的に行うことが重要と考える。 参加校を増やしていくために学校訪問などを行う。	インターンシップやデュアルシステムの実施状況	2024年9月	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月15日
事業者名 (登録単位)	株式会社エムテックス
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市港北区
業種	L (学術研究, 専門・技術サービス業)

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	CO2排出量を算定するため、社内で学習会を開催し、算出方法を習得する。	算出ツールを用いてスコープ、カテゴリ毎にCO2排出量を算出する。	年度末にCO2排出量を確認する。	毎年度	
社会	YK-S-5 従業員の 人材育成・能力強化	●従業員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している	会社業務遂行に有効とみなされる資格の取得者に対し、資格取得奨励一時金を支給する。	ALL DIFFERENT社、SEプラス社等の研修サービスを利用、また部門長の面談等を通じて資格取得を促す。	年度末に資格取得者数を確認する。	毎年度	
ガバナンス	YK-G-2 情報セキュリティ	●情報セキュリティ対策を行っている。	社内全PCにウイルス対策ソフト、暗号化を導入。	ネットワークシステムのセキュリティを強化するため、必要な投資をする。	社内会議で進捗状況を確認する。	毎年度	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域問題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	港北区消防主出初式、市内小学校体育館点検等でドローンによる動画撮影を実施。	これまでの活動に加えて、新規活動を増やす。	社内会議で進捗状況を確認する。	毎年度	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月15日
事業者名 (登録単位)	株式会社サトウ自動車
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市戸塚区
業種	R（サービス業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●自社の環境への取り組みを開示している。	現在は特に関示していない	自社のホームページにおいて、リユース品(リビルド/中古)の取扱の開示。環境対策として燃費が良くなるエコ整備の取扱の開示。	ホームページへの掲載で確認とする	2024年末	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	健康診断受診率100%、産業医による匿名面談制度	従業員のメンタルヘルスケアに注力していきたい	個別面談の回数増加やメンタルヘルスチェックシステムの導入などを検討している	2年後を目標に	
ガバナンス	YK-G-2 情報セキュリティ	●情報セキュリティ対策を行っている。	セキュリティアクション宣言済。 元システムエンジニアを採用し、情報セキュリティ対策を実施。	UTMやセキュリティハブの導入などを検討中。	目標達成期限まで情報セキュリティインシデント0件。	2年後	
地域	YK-L-1 横浜における雇用促進	●従業員の1/2以上が横浜市民である（非正規・パートを含む）	9割が横浜市民。	引き続き横浜市民の採用に注力するが、業界全体が人手不足なので、横浜市民以外の採用にも注力する。	従業員数20人(非正規・パート含む)	2年後	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月15日
事業者名 (登録単位)	西田装美株式会社
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市南区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-5 天然資源・生物多様性への配慮	●天然資源や生物多様性へ配慮している。	洗剤を使わない清掃の取組み。河川の生態系に何らかの影響を及ぼす可能性のある界面活性剤を含まない「アルカリオン水」の活用を進めている。現在は、ひと月に20リットル程度の原液を自社で製造し、10～30倍ほどに希釈して数件の清掃の現場で使用している。	今後は、アルカリオン水の製造を倍増し、使用現場の倍増を目指す。	アルカリオン水作成数量の記録、使用現場への搬入記録等で確認する。	2027年3月を目標期限とする。	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	2023年3月に横浜健康経営認証（クラスA）を取得しました。健康経営の実践に向け、隔月で産業医による研修や、何らかの健康不安等を持つ個人に対するカウンセリングなどを行い、社員の健康増進やストレスの緩和等に取り組んでいる。現在にところストレスチェックで問題のある社員が4名（22年度）、2週間以上の長期休業者が11名（23年度）となっていますが、これらの削減を目指している。	昨年度に横浜健康経営認証（クラスA）を取得しましたが、クラスのランクアップも視野に、現在の健康経営を実践しつつ、ストレスチェックで問題のある社員や長期で療養が必要となる社員数を少なくとも半減させられるようすすめていきます。	毎年実施されている、ストレスチェック、健康診断や勤務状況により確認する。	横浜健康経営認証が2025年7月が更新月となっているので、それまでを一つの区切りとしたいと考えています。	
ガバナンス	YK-G-2 情報セキュリティ	●情報セキュリティ対策を行っている。	2022年度にプライバシーマーク制度を取得し、個人情報保護マネジメントシステムの運用を始め、維持している。	上記システムの運用を始め、今年度更新年度となるため、等システムに於ける内部監査・マネジメントレビュー等を実施し更新手続きに備える。	2024年8月の更新結果にて確認を図る。	本年8月及び2026年の2回目の更新を目指す。	
地域	YK-L-1 横浜における雇用促進	●従業員の1/2以上が横浜市民である（非正規・パートを含む）	公共の高齢者施設の清掃現場が6件、民間の施設が20件程度あり、横浜市内で高齢者の方を含め労働の機会を保持している。現在横浜市民の従業員が60%以上を占めているが、今後は民間の施設を請け負い件数の増加に伴い、市内労働者の増加も見込んでいる。	今後は、民間の高齢者施設の増加に伴い、請負件数の増加も見込める。公民合わせて10%程度の請負件数増加を見込み、新たに高齢者を含む市内従業員の数の増加も見込まれる。これらの状況を踏まえ、市内従業員が7割を超えることを目指している。	請負現場明細及び従業員名簿等により、結果の確認ができる。	2025年度（2025年4月）を期限として、上記達成を目指すものとする。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月15日
事業者名 (登録単位)	株式会社ツジマキ
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市南区
業種	E（製造業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期 限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記 述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●環境マネジメント体制を構築している。	エコアクション21の認証	環境経営レポートの作成・提示	ホームページ、環境経営レポート	令和8年5月	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	長時間労働を抑制している。 「かながわ健康企業宣言」を行っている。	「横浜健康経営認証」の取得	健康経営に対する意思を具現化させる。	令和6年11月	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	毎朝行われている朝礼による確認・報告	ビジネスチャットツールを用いた情報共有	ビジネスチャットツールの更新履歴	令和7年2月	
地域	YK-L-1 横浜における雇用促進	●従業員の1/2以上が横浜市民である (非正規・パートを含む)	従業員全員が横浜市民である。	売上増加にともなう、横浜市民の雇用促進	従業員台帳	令和7年2月	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月14日
事業者名 (登録単位)	株式会社FCC
所在地区 (登録単位)	神奈川県藤沢市辻堂
業種	R（サービス業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-6 製品・サービスを通じた環境問題の解決	●製品・サービスの提供を通じて環境問題の改善に貢献している	・有害な薬剤散布などを行わず、ノンケミカル・レスケミカルのFCCコーキング剤を使用し安全で環境にやさしい施工を行っている。 ・FCCコーキング剤は万が一、子供やペットの口に入っても害はない。	・施工技術の向上と勉強会を通じて、より安全で環境にやさしい施工を確立し、業界日本一の施工を目指す。	・毎週の施工部会で現場対応について共有を行い、取り組みについて確認する。	次回の更新申請時 (2026年2月)	
社会	YK-S-2 多様な人材の活躍	●外国人、障がい者、高齢者等、社内の多様な人材の活躍支援に関する取り組みがある。	・外国人留学生の採用、軽度障がい者の社員登用を実施している。	・ダイバシティ経営の観点から、異なるバックグラウンドや文化的背景を持つ人々と共に働くことを積極的に受け入れ、その多様性を活かすことができるように、社員教育や勉強会を継続していく。	・社員教育や勉強会を通じて、社員への満足度調査のアンケート実施を行う。	次回の更新申請時 (2026年2月)	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取り組みが進められている。	・事業承継については経営者が具体的に進めている。 ・FC加盟店の募集などで全国展開を目指している。	・2027年度のホールディングスと事業会社化の完成 ・FC加盟店展開のビジネスモデル確立	・年度計画と照らし合せて、PDCA会議等で状況について進捗確認を行う。	2027年度	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●横浜市と連携し、地域課題解決に向けた取り組みを行っている。	(LEAF II) ・未病を改善するコンセプトで、カフェに来て頂いたお客様から体に入れるもの大切さ、健康管理に気付きを与え、ひいては神奈川県での医療費削減にも貢献することを目指す。 ・障がい者が働き普通に受け入れられているカフェの運営	・未病を改善する健康管理の拠点としての情報交換の場を目指す。	・お客様からの声やアンケートなどのフィードバックを集積、分析してカフェ経営の在り方について社内的に評価を行う。	次回の更新申請時 (2026年2月)	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月14日
事業者名 (登録単位)	大光ルート産業株式会社
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市神奈川区
業種	E（製造業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	事務所の照明を全体の80%LEDに変更し、省エネを実施している。 工事機械、設備は環境対応型を積極的に使用している。 社有車をEV車及びHV車に入れ替えている(現在22台中8台) 太陽光発電を導入した（R5.8より）	照明を100%LEDに変更する。 社有車を随時EV車・HV車に入れ替える。（目標50%） 太陽光発電によるCO2削減	太陽光発電によるCO2削減を、1kwh当たりCO2-600gで算出し、管理していく。	照明、車については3年以内。 太陽光発電のCO2削減は継続していく。	
社会	YK-S-8 製品・サービスを通じた社会課題の解決	●製品・サービスの提供を通じて社会課題の解決に貢献している。	環境や人にやさしいものづくりを目指し、製品開発を行っている。 (当社製品 視覚障害者誘導用点字シート 等)	街の景観になじむ色合いの点字シートや、関連製品として点字シートの輝度比を向上することが出来る点字側帯樹脂を独自に開発し製品化した。 従来の点字シートも含め、より多くの地域での点字シートを普及率の向上を目指し、視覚障害者の方が住みやすい街づくりに貢献する。	現地調査を定期的に行う。	3年以内	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取組みが進められている。	事業継承に関する検討が行われている。 自然災害等の発生時に対する「事業継続力強化計画」を策定し、認定を受けている。	事業継続力強化計画の定期的な見直し。 事業継承へのタスク管理。	事業継承の時期が確定した時点で、それまでのタスクの進捗状況を確認。	⑤による。	
地域	YK-L-3 横浜における文化・芸術活動の促進	●横浜地域において、文化・芸術活動に携わっている	横浜市在住の画家を支援している。（関係者） 横浜市在住の写真家を支援する目的で、神奈川(横浜)の風景写真を使ったカレンダーを作成。関係者に配布している。	横浜市で開催される個展や絵画展等の芸術活動に協賛予定。 横浜の風景写真を使ったカレンダーを毎年作成・配布する。	年度毎の実績を把握する。	期限を決めずに継続する予定。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月13日
事業者名 (登録単位)	株式会社アブソルート
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市中区太田町6丁目79番Absolute横浜馬車道ビル
業種	I（卸売業、小売業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めています。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時 に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動(脱炭素)への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●環境マネジメント体制を構築している。	「エコアクション21」の認証取得に向けた準備 令和5年度エコアクション21横浜市自治体イニシアティブ・プログラムの勉強会に参加 (2024年度に認証を申請予定)	・二酸化炭素排出量1%削減 ・一般廃棄物排出量の測定 ・水使用量の削減（当社はテナントで水使用量の把握が困難なため数値目標を設定しないが、節水活動に努め、従業員への呼びかけを実施） ・環境推進CSR活動（環境絵日記における企業員の協賛、環境活動への寄付）	エコアクション21 環境経営レポート	2024年度末	
社会	YK-S-5 従業員の人材育成・能力強化	●従業員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している	①従業員の自己研鑽のための研修機会の提供 研修費用の一部または全額を負担して研修機会を提供している。 ②従業員の能力開発を目的とした教育訓練の実施 労働安全衛生、両立支援、健康経営、関係法令、情報セキュリティなど	①中間管理職のリーダー候補生に対して、キャリアアップの機会を創出し、労働意欲を維持するために、半年から1年間の期間で外部の教育訓練に派遣。 そのほか、外部の対面セミナーやオンラインセミナーなどの短期・単発の研修についても、従業員の参加希望を随時受け付ける。 ②従業員全体が、個々の差異を尊重し、それをイノベーションの源とする風土を築くことを目指す。 そのために、ダイバーシティ&インクルージョンに関する最新の情報を収集し、従業員・役員に周知や教育訓練を実施。また、従業員ひとりひとりが働きやすい環境を整え、継続的に活躍・成長できるように支援する。	研修の参加票、ダイバーシティ経営診断ツール	2025年度末	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取り組みが進められている。	BCP（事業継続計画）の策定 BCPの策定に関する研修に参加、策定に向けて準備を進めている。	事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定したBCP計画の策定。	事業継続計画書	2025年度末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	①横浜市資源リサイクル事業協同組合主催の「環境絵日記」への協賛 地域企業賞として「アブソルート夢みらい賞」を創設し、横浜市の小学生が描いた環境絵日記を毎年表彰している。 ②よこはま就職サポートセンターにインターンシップ受入れ企業として登録。 横浜市在住の再就職を目指す求職者の受け入れや、参加者の採用を行っている。 ③横浜フィルムコミッションへの協力 横浜市政策局広報戦略・プロモーション課の担当者と定期的なやり取りをし、社屋を撮影場所として提供。地域経済の活性化、知名度の向上に繋げている。	現在の取り組みの継続とともに、さらなる地域社会とのコミュニケーションの機会を図るための施策を講ずる。	当社HP、活動報告書	2024年度末	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月13日
事業者名 (登録単位)	日機道路株式会社
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市港北区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時 に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-4 廃棄物・有害化学物質の管理・3Rの推進	●廃棄物・有害化学物質を適切に管理している	リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている（廃棄分類の徹底（現場発生の際プラ・木くず・金属くず）に分類しマニフェストで管理）	現在の取組内容を継続し、リデュース、リユース、リサイクルの推進を行う（廃棄分類の徹底（現場発生の際プラ・木くず・金属くずに分類しマニフェストで管理）	産業廃棄物（現場発生の際プラ・木くず・金属くず）の分別は、各現場担当者が行いマニフェスト保管・管理は本社にて工事部長が行う	2026年度末	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	1) 社員の健康促進のための活動を実施している（はまフレンドに加入） 2) 従業員向けにメンタルヘルスの意識啓発、研修を実施してメンタルヘルス関係をアクサ生命に依頼 アクサ生命（健康習慣アンケート）年1回実施 令和4年度には【横浜健康経営認証】取得	健康寿命を延ばす取組 1) 職場は控える A: 喫煙に関するポスターの掲示【世界禁煙デー】を継続的に行う B: 健康保険組合「禁煙プログラム」参加呼び掛け ① オンライン禁煙プログラム【コチン(ウチ粘薬とオンライン診療)】 ② 禁煙サポートプログラム【ニコレットとサポートメール】等 2) 過度な飲酒を控える ポスターの掲示【お酒は、ほどほどに】 3) 元気な身体活動を行う 健康アプリの活用 【ここはオアキョウポイント】：ウォーキングイベント「ENJOY WALKING」に参加（年2回） 【kencom】：ウォーキングイベント「みんなで歩活」に参加（年2回） 4) 睡眠時間をしっかりと確保する 健康寿命を延ばすという意識が非常に大切なことを社員に理解してもら	健康診断の受診状況をチェックし、未受診者が確実に健康診断を受診するための啓発、環境整備等を行う 検診結果を把握してフォローする アクサ生命（健康習慣アンケート）結果により ① 生活習慣の主要項目に対する取組姿勢の傾向を明らかにする ② 生活習慣に関する取組姿勢に影響を与えられる社会的要因の主要なものを特定する	2026年度末	
ガバナンス	YK-G-2 情報セキュリティ	●情報セキュリティ対策を行っている。	1) FortiGate-60F（大塚商会）設置 ランサムウェアや高度なサイバー攻撃からネットワークを保護 2) Cloud Edge 70s（大塚商会） 被害が増大しているランサムウェアだけでなく、ファイアウォールや端末のウイルス対策では防げなかったサイバー攻撃を防御 3) SubGate EDR（大塚商会） ウイルス感染したPCによる内部からの攻撃の検知や通信遮断などのセキュリティ対策	現在の取組み内容を継続し、社内の機密情報や個人情報の漏えいを防止していきます	大塚商会からの「たよれーる EasySOC_for_Cloud_Edge」月次レポートで結果報告を確認します	2026年度末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	1) 横浜市と連携協定を締結している（横浜市災害協定を締結） 2) 地域の防災・防犯・清掃活動に参加している（新横浜町内会） 3) 文化・芸術活動を行う個人や組織を支援している（日産スタジアム杯少年サッカー大会、横浜開港祭、港北区消防出初式、新横浜町内会盆踊り大会、新横浜花火大会） 4) 新しい防災への取組として災害に強い街づくりを支援している（はまこ防災プロジェクト協賛）	引き続き、横浜市と連携協定を締結していく（横浜市災害協定を締結）また、地域の枠を超えて他企業と提携して支援活動を継続していく	社会貢献活動に参加することで社員の意識の向上を推進していき、社会的存在のある企業としての責任を遂行している姿勢を示し、地域住民から信頼を得たい	2026年度末	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月13日
事業者名 (登録単位)	有限会社グリーンファイブクレーエ
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市青葉区
業種	H（運輸業，郵便業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●環境マネジメント体制を構築している。	低燃費タイヤや環境対応車等を導入している。	車両入替時を中心に、引き続き環境負荷の軽減となる製品を導入する。 燃費管理表を作成し、燃料の消費量を確認する。	燃費管理表	2025年度末	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●職場における安全・衛生管理に取り組んでいる	従業員への健康診断や、日々の体調管理を行い、交通事故の未然防止に努める。	引き続き従業員の体調管理を行い、事故の防止に努める。	健康診断の受診結果	2025年度末	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	法令等を徹底周知するため、勉強会を実施。車両購入先のメーカーと協力し、排ガス規制の変更等の情報を収集する体制を構築している。	勉強会の定期的な開催（月に1回）の徹底。	勉強会開催報告書	2025年度末	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域問題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	渋滞回避できる配送ルートや配送時間帯を考え、走行距離や走行時間を削減できるようコースを設定。地域負荷の軽減に努めている。	随時配送コースの見直しを行い、効率的な配送ルートを作成する。	配送日報	2025年度末	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月9日
事業者名 (登録単位)	株式会社マルタケ
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市鶴見区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-4 廃棄物・有害化学物質の管理・3Rの推進	●廃棄物・有害化学物質を適切に管理している	(株)キタジマ エコマーク取得してる会社に処理をお願いしている。 環境にやさしい水性塗料を優先している。 フォースターの塗料を使用している。	まだ、社用車に普通の車両があるので、ハイブリッド車や低公害車に移行する。	車両の買い替え	車両の次の車検までに (2025年1月)	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	健康診断を会社で申し込んでいる。(毎年1回(12月末)に健康診断を実施する義務を設けている)	週休二日制を取り入れる事で従業員の休暇日数を増やす。 横浜健康経営認証を取得する。	出勤簿で確認する。 横浜健康経営認証を取得出来たかどうか。	第9回目横浜健康経営認証の取得を目指す。	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	役員は1級及び2級建築施工管理技士の資格を保有しており、法令遵守の知識はみにつけている。 代表が税の正しい知識を得るために鶴見法人会に入り、正しい税の知識を学んでいる。鶴見法人会の毎年11月に行われる、トレジャーハンティングの主催側になり、知識を広める側として参加している。	代表が税の正しい知識を得るために鶴見法人会に入り、税のオピニオンリーダーになり社員及び家族達に正しい税の知識を教える。鶴見法人会の毎年11月に行われる、トレジャーハンティングに参加することにより、社員、家族で参加して、税の知識を浸透させる。	トレジャーハンティングの時に問題が出るので、その時に答えられるかどうか?	2024年12月末	
地域	YK-L-1 横浜における雇用促進	●従業員の1/2以上が横浜市民である(非正規・パートを含む)	従業員の80%が横浜市民 地域のイベントに従業員全員で参加している。	地域コミュニティに従業員、家族で参加する。	社内共有アルバムを作成する。	2024年7月	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月7日
事業者名 (登録単位)	株式会社ピオン工業
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市神奈川区
業種	E（製造業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	2023年12月に事務所の照明を全てLED化にし電力消費量を18%削減。	省エネに対応した空調機等の更新を検討し、冷暖房の設定温度を徹底して管理し電力消費量を10%以上削減する。	電気料金明細書で確認し集計する。	2026年度末	
社会	YK-S-5 従業員の 人材育成・能力強化	●従業員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している	資格取得を奨励し、受験料や講習費用について会社で負担している。難易度が高い資格に対し、独学で習得した場合は賞与での評価に反映している。	施工管理士の受験資格変更に伴い受験可能な社員が拡大するため、該当社員への積極的な受験案内と引き続き受験料や講習費用の会社負担により有資格者を増加させる。	資格者リスト及び受験及び講習料の領収書控え	2025年度末	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	横浜、神奈川県との賛同する団体へ寄付を行っている。今期は新たに認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクトを活動を支援しました。	引き続き、地域に根差した団体へ寄付をしていき社会的責任を果たしていく。	ホームページに掲載	継続的に実践	
地域	YK-L-1 横浜における雇用促進	●従業員の1/2以上が横浜市民である(非正規・パートを含む)	現在、従業員18名中9名が横浜市民	横浜市民の積極採用と地方出身の新卒社員へ家賃補助をし、横浜市内へ住居を提供。	社員名簿	継続的に実践	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月7日
事業者名 (登録単位)	エヌエス・テック株式会社
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市鶴見区
業種	R（サービス業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ運動、節電活動を実施している。（社有車のアイドリングストップや、昼休憩時の事務所消灯） 社内のペットボトルの利用を控え、水筒やマグカップを利用を推進している LED照明の使用を推進し、本社ビル事務室は全てLED照明にしている。 通勤時、公共交通機関等の使用を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員に対しSDGsの取組をより浸透させ、マイボトル利用率の向上を目指す。（社内のペットボトルの利用を控える） 目標：水筒やマグカップの利用率90%（現状85%） 省エネ行動節電活動を実施する。（社有車のアイドリングストップや、昼休憩時の事務所消灯） 目標：社有車のハイブリッド車の導入率20%（現状16%） 通勤時、公共交通機関等の使用を促進する。 	従業員に対し目標行動・活動への取組状況を聞き取り、グラフ化し社内報にて周知する。	2024年度末	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●職場における安全・衛生管理に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 雇入れ時安全衛生教育の実施。 年2回中央安全衛生委員会の実施。 事業所ごとに月1回安全衛生委員会の実施。 該当事業所ごとに第一種衛生管理者の配置。 健康診断結果に対して、コメント有りの方へ二次検診のうながし。 人材育成のため職員へe-ラーニング研修を全額負担で実施している。 e-ラーニングは自己啓発でも受けられる。（全額負担） 	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生委員会を事業所ごとに月1回実施する。（全ての事業所で実施） 長時間労働を抑制する取り組みの実施（時間外労働状況の事前把握および取引先へ抑制協力の働きかけなども行なう）。 健康診断結果に対して、有所見者に対する二次受診の勧奨その確認。 人材育成のため対象者に対し研修を100%実施する。 目標：「健康経営優良法人2024」認定取得 目標：二次健診の受診率100% 	<ul style="list-style-type: none"> 各安全衛生委員会議事録（関連事項報告）の確認 健康経営優良法人2024認定証 二次受診有無表の確認 受講履歴の確認 	2024年度末	
ガバナンス	YK-G-2 情報セキュリティ	●情報セキュリティ対策を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報適切に管理し、プライバシーマークの認証を取得している。 情報システムへのセキュリティ対策を施している。 従業員への情報セキュリティに関する研修を行っている。 対策を行うための部署、担当を配置している。 上記は行動規範に基づき、役職員に周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報を適切に管理する。 情報システムへのセキュリティ対策の維持・強化 従業員への情報セキュリティ・SNSリテラシーに関する研修を行う。 対応部署での実施管理 目標：JIPDECにおけるプライバシーマーク制度の認証継続 	プライバシーマーク登録証	2024年度末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> 本社自社ビルがある鶴見銀座商店街のイベントに場所を提供している。 本社・鶴見事業所ビル周りの道路や歩道の清掃をしている。 月に1度本社自社ビルがある鶴見銀座商店街にて清掃を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本社自社ビルがある鶴見銀座商店街のイベントに場所を提供する。 本社・鶴見事業所ビル周りの道路や歩道の清掃を行なう。 目標：月に1度本社自社ビルがある鶴見銀座商店街にて清掃活動を継続する。 	社内報、各種SNS、ホームページにて清掃活動の様子を写真と共に掲載。	毎期継続目標	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月7日
事業者名 (登録単位)	株式会社ハマデン
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市緑区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑦進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-3 水の効率的な利用・管理	●水の効率的な利用・管理を行っている	自社として独立した取り組みはしていないが、数ある電気工事業者のうち、当社は公共の水処理関連施設（水再生センター・配水池・ポンプ場等）での施工を専門としているため、自治体に於ける水資源の活用に貢献出来ていると考えています。	工事設計を自らですることにより、環境に配慮した工材の選定や、廃棄物の適切な処理等、様々なロスを削ることが可能であるため、工事設計の業務を拡大すべく教育を実施していく。	受注案件のうちの工事設計の割合がどれだけ増加したか。	令和10年度	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●職場における安全・衛生管理に取り組んでいる	いくつかの項目に分かれた年間計画を作成し、それぞれの行動計画に沿って実施している。四半期毎に進捗の確認をしている。期末にその成果の確認や検証をして次回の年間計画の内容を決めている。	達成目標を次年度も維持をすべきものは維持を、ステップアップが可能な項目は次年度の目標設定を高くしていく。	四半期毎に進捗の確認をしている。数値化されているものはその確認をする。期末に1年の検証をして次年度の計画を作成している。	単年度目標の達成の連続なので期限は無いと考えます。	
ガバナンス	YK-G-1 公正な経済取引	●公正な経済取引を行っている。	当社は建設業に分類されるため、建設業法のガイドラインから逸脱することのないよう、公正な見積り依頼・工事発注をしている。	今後も取引先各社を相互協力しながら事業を継続していく。若年層の従業員にも取引先との関係を引き継いでいく。	見積り依頼・発注依頼ともに、現場担当者の独断では発行出来ないフローになっているため、逸脱行為が有ればその都度確認可能。	永続	
地域	YK-L-1 横浜における雇用促進	●従業員の1/2以上が横浜市民である（非正規・パートを含む）	特に意識しているわけではないが、通勤の便や転勤が無い企業ということで市内からの応募が多いのではないかと。	緑区で20年以上経営しており会社近隣に居を構えている従業員も複数いるため、今後とも横浜市で経営を続けて行く予定である。	従業員名簿上の市内在住者の人数確認	永続	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月6日
事業者名 (登録単位)	興和工業株式会社
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市旭区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述 提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	新社屋を建設するにあたり、付属設備等については、例えば次の具体例のように省エネを十分意識した選定を心がけ、概ねその目的は達成できたことと評価しています。 ・全証明：LEDライト・トイレ：超節水型の便器。窓ガラス：素材を高遮熱使用。・動線を照らす照明：原則、センサー付きライト	さらなる電力需要削減のため、新社屋の屋根に太陽光発電を設置します。	設置後の太陽光発電による発電量実績（削減効果）を確認する。	2024年12月31日までに設置、稼働を開始します。	
社会	YK-S-4 多様な働き方の促進	●多様な働き方を促進するための取り組みがある	就業規則を整備し、手当や休業制度の充実をはかり、結果として、「よこはまグッドバランス企業」の認定を受けました。	より授業員個人ごとの作業予定に就業時間をマッチさせることで無駄な残業事業を削減のため、変形勤務制を導入し、運用します。	労働基準監督署へ提出した届出。運用実績（勤務表）を確認する。	2025年4月1日から運用開始します。	
ガバナンス	YK-G-2 情報セキュリティ	●情報セキュリティ対策を行っている。	情報セキュリティ方針を策定、宣言し、その方針に基づき、IT担当の設置、社内環境の整備、定期的な研修等を行うことで、従業員の情報リテラシーの向上に常に取り組んでいます。	IT担当がIT関連資格を取得することで、より情報セキュリティを強化するための施策の検討、実現する環境を構築する。当社としては、資格取得に向けて支援（金銭的、時間的）を行います。	IT関連資格の取得状況を確認すると共に、その後、実現した具体的な施策について確認をする。	2025年3月31日を確認日とします。	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	毎年年末に、お礼状に当社オリジナルカレンダーと工事料金割引券を過去ご利用いただいた近隣顧客へお配りしています（約700件）。	更なる認知度アップと付加サービスの提供として、自社オリジナルエコバックを作成し、同様に近隣顧客へお配りします。エコバックをお配りすることで、レジ袋の使用を頻度を下げることにつながるのではとの意図も合わせてもっています。	エコバック納品書と配布先リストの確認する。	2024年7月31日までに配布完了を目指します。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月6日
事業者名 (登録単位)	門倉工業株式会社
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市磯子区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-6 製品・サービスを通じた環境問題の解決	●製品・サービスの提供を通じて環境問題の改善に貢献している	・木材の廃材を粉碎、チップを製造し製紙会社へ紙の原料として、バイオマス発電所へは再生エネルギー資源として納入している。	・安定した業務の継続	・納入実績	・年度ごとに実績を検証	
社会	YK-S-5 従業員の人材育成・能力強化	●従業員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している	・施工管理者、経理の資格取得奨励金を制定済み ・人材開発支援助成金等を活用し、技能取得の機会を設けている。	・業務に必要とされ、各自のキャリア開発につながる資格取得者を増やす。	・資格取得数	・年度ごとに結果を検証	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	・工事現場においては、住民説明会または戸別訪問により工事内容の説明を実施。 ・寄付活動としては、弊社が建物解体した跡地に建設された縁で「横浜こどもホスピスプロジェクト」への支援を実施	「横浜子供ホスピスプロジェクト」への継続した支援の実施	寄付額を確認	2025年度末	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●横浜市と連携し、地域課題解決に向けた取り組みを行っている。	・会社として、横浜市の就職困難者支援事業の協力事業所として認定を受けるとともに、参加している磯子事業会においても、磯子区と包括的な事業協力を締結している。	・就職困難者支援事業において、継続的な訓練生の受け入れにより社会復帰への足掛かりとなる機会の提供を図る。	訓練生の受け入れ継続	2025年度末	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月5日
事業者名 (登録単位)	あかね台二丁目自治会
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市青葉区
業種	T（分類不能の産業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-6 製品・サービスを通じた環境問題の解決	●サービスの提供や活動を通じて環境問題の改善に貢献している。	春と秋の地域清掃に自治会員全員の参加をよびかけ、区域の公園や道路の美化に努めている。またゴミネットボックスを設置してクリーンなゴミ回収を心がけ、更に資源循環局による資源リサイクルセミナーを開催してリサイクルへの意識向上をはかった。	引き続き、自治会員の参加による定期的な地域清掃を実施し、またゴミ回収の徹底、資源リサイクルのための各種活動を実施していく。	毎年4月に開催される定期総会において各活動の報告を確認する。	毎年度末。	
社会	YK-S-8 製品・サービスを通じた社会課題の解決	●サービスの提供や活動を通じて、よりよい社会の実現や社会課題の解決に貢献している。	高齢者のケアを主眼においた「あかね台を暮らしやすくする会」を定期的で開催し、交通安全や子供の見守り、その他地域課題の共有と解決に努めている。	今後とも地域ケアのための会議を定例開催しながらボランティアと共同しての認知症サポーター講座、等を開催していく。また、防犯防災部を中心とした自治会員による夜間パトロールも実施する。	毎年4月に開催される自治会総会議案書において各種活動の具体的な報告を確認する。	毎年度末。	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●法令に基づいた情報開示に加え、支援者への情報開示を行っている。	自治会規約に個人情報取扱いルールを定め、法令に遵守したガバナンスを実践している。また、自治会のHPを通じて役員会、班長会の議事録を開示し、運営の透明化をはかっている。毎年開催される定期総会において活動の報告を行ない、議案、運営体制とともに承認を得ることとなっている。	今後とも、規約に基づいて役員会・班長会・総会を開催し、議題の承認・議決のプロセスを議事録に文書化し、ガバナンスの確保に努めていく。	毎年4月に開催される定期総会において、上記ガバナンスに係る報告を確認する。また議事録に決議事項が網羅されていることを確認する。	毎年度末。	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域問題の解決	●横浜の地域経済に資する活動をしている。	あかね台1丁目と合同であかね台夏祭りを開催している。令和5年度はコロナ禍をへて4年ぶりの開催となったが、地域の商店やレストランからも多くの協賛や協力をいただき、模擬店も活況で経済面も含めた地域の活性化に大きく貢献出来た。	今年も地域の商店や各種団体からの協力を得て、あかね台夏祭りの開催に、向けて取り組んでいく。	定期総会における夏祭り活動報告の確認。	毎年度末。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月4日
事業者名 (登録単位)	横浜繊維振興会
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市中区
業種	T（分類不能の産業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-4 廃棄物・有害化学物質の管理・3Rの推進	●廃棄物・有害化学物質を適切に管理している	<ul style="list-style-type: none"> 横浜繊維振興会の会員（住雅）で、再生ポリエステル糸を原料としたストールを生産し販売している。横浜繊維振興会のイベントで販売の協力をしている。 スカーフプリント時に有機化合物を極力使用していないか確認している。 シルク製品は、工口製品であるがスカーフをバッグや風呂敷としての使用を提案している。 横浜繊維振興会の会員横浜ファッションデザイン専門学校に、スカーフを寄贈し専門学校生徒がワンピースやドレスを製作し、ファッションショーを開催、また、リサイクル販売や合奏メンバー衣装として再利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> スカーフのリユースの取組みとして、イベント時に使用済みのスカーフを回収と恵まれない子供たちの施設等への寄付をする。 人道支援として、スカーフ、生地等の寄付をする。 天然繊維であるシルク製品は、前の段階から廃棄する物は無く、最終的に廃棄しても土に帰る究極の工口製品である事を消費者に伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 各イベント時、確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年達成を目指し、継続する。 	
社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> 横浜スカーフ親善大使を選出している。 女性の採用比率の目標比率を設定している。 女性理事の比率を高めている。 女性である横浜スカーフ親善大使にイベントで協力してもらい、地場産業のスカーフの振興を横浜の地元イベントにも参加し、横浜市や他団体のPRに活躍してもらい、大きく貢献している。 女性会員であるスカーフ講師、カラー講師にイベントにて協力してもらう。 横浜市のイベントでスカーフ結び方教室、カラー診断を行い、地場産業である横浜スカーフの振興PRを行っている。 キャリア支援研修の実施、促進をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜スカーフ親善大使選出。来期12代目、募集、選出。 女性会員、女性理事の比率を高める。 女性である横浜スカーフ親善大使にイベントで協力してもらい、横浜市や他団体のPRに活躍してもらう。 女性会員であるスカーフ講師、カラー講師、工口バッグ作成講師に協力してもらい、地場産業の横浜スカーフの振興PRを行う。 キャリア支援研修を、定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜スカーフ親善大使選出。毎年3月、任期4月1日～3月31日（1年間） 女性会員は、随時募集している。 女性理事比率は、 各講師のイベント協力は、イベント終了後。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年達成を目指し、継続する。 	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	<ul style="list-style-type: none"> 法令及び会則に則って、団体の運営が実行されている。 理事会等が十分に機能しており、民主的運営がされている。 法令で定められた書類を事務所に備え置き、閲覧可能可能な状態にあるとともに、会則、役員名簿、事業計画書、事業報告書類が公開されている。 毎年、損益計算書、貸借対照表を作成し、監査を受け、総会にて承認してもらっている。 横浜市、神奈川県からの補助金事業は、適正に処理し横浜市、神奈川県に報告している。 法令で定められた書類が閲覧可能であり、会則、役員、事業計画書、事業報告書類は公開されている。 ホームページにより、会員一覧、事業案内、報告を定期的にアップしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 法令及び会則に則って、団体の運営を実行する。 理事会を定期的に開催し、民主的運営をする。 法令で定められた書類を事務所に備え置き、閲覧可能可能な状態にあるとともに、会則役員名簿、事業計画書、事業報告書を公開する。 毎年、損益計算書、貸借対照表を作成し、監査を受け、総会にて承認をもらう。 横浜市、神奈川県からの補助金事業は、適正に処理し横浜市、神奈川県に報告する 法令で定められた書類が閲覧可能であり、会則、役員、事業計画書、事業報告書を公開する。 ホームページにより、会員一覧、事業案内、報告を定期的にアップする。 	<ul style="list-style-type: none"> 理事会、総会にて確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 全て持続する。 	
地域	YK-L-3 横浜における文化・芸術活動の促進	●横浜地域において、文化・芸術活動に携わっている	<ul style="list-style-type: none"> 会員より山村助成氏が『横浜マイスター』に選出されている。 毎年、横浜駅のシエトンホテル地下通路に横浜スカーフの新作の展示に協力している。 横浜開港150周年で製作したスカーフを現在も販売している。横浜市ふるさと納税返品のにも選出されている。 シルク博物館との連携を強化している。イベント開催時の招待券の配布やシルクセンター活性化のために会場利用、シルク博物館とのイベント案内をイベントチラシに掲載している。 シルク博物館でシルク振興と学びの機会を作るために、シルク博物館見学及び研修の機会を各団体や町内会等に勧誘して、学芸員に説明してもらいシルクの良さを伝える活動をしている。 横浜スカーフの振興のために、横浜市経済局との連携により、毎年GWを中心に『横浜ファッションウィーク』のイベント開催、毎年3月に『かながわシルクフェア』を開催している。 中区連携し、区民まつりにて横浜スカーフのPR並びにスカーフ防災活用方を教示している。 地場産業である横浜スカーフの保護、育成、振興に力を入れて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きなイベント連携だけではなく、区、町の1日のみのイベントにても、シルクの良さ及びスカーフ活用方、スカーフ防災活用方を受け伝える。 横浜とシルクの歴史を、イベントにてシンポジウム等を開催する。 引き続き横浜スカーフの保護、育成、振興に力を入れて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 各イベント時に確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年達成を目指し、継続する。 	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月3日
事業者名 (登録単位)	有限会社大高製作所
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市都筑区
業種	E（製造業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述 提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-6 製品・サービスを通じた環境問題の解決	●製品・サービスの提供を通じて環境問題の改善に貢献している	<p> castingには余計な空気などを排出するオーバーフローなどがある。 一般的には製品外のため廃棄されている。 これをただ捨てるのではなく、何か製品の形にし、自社アピール用のノベルティにする。</p>	<p> 素材材にまつわる企業であれば、必ず直面する問題。 しかしこれを具体的に解決しようとする動きはあまり見ない。 紙であれ金属であれ、おおよその分野で可能なので、これを新しい次世代のSDGsの解決方法とする。</p>	採用する企業が増えるかどうか	無期限	
社会	YK-S-8 製品・サービスを通じた社会課題の解決	●製品・サービスの提供を通じて社会課題の解決に貢献している。	<p> リサイクル性の高いダイカストを使用した自社製品の作成。 目の見えない子供にも扱える知育玩具の作成。 コロナ飛沫対策として、首に掛けるフェイスシールドの作成。</p>	弊社は金型メーカーであったが、知育玩具の事業を新たに開始した。	売上量、お客様からの声	ずっと続けていきます	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	<p> 産学連携。 すでに小学校・中学校で製造業についての出張授業を行っている。 また大学の授業の一環として製品を共同開発。 年内発売を目指して調整中。</p>	<p> 教育は重要であると考えている。 なので現在開発しているのは全て知育玩具である。</p>	連携の実績数	継続中	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域問題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	<p> 自社製品を作り、その外注先はできるだけ市内など近隣を目指している。 また都筑区のモノづくり仲間、メイドインつづきのメンバーであり、すでに様々なイベントを共同で行っている。</p>	<p> 自社製品はふるさと納税品として活用する。 メイドインつづきのイベントも継続する。</p>	<p> メイドインつづきのイベントで自社製品という、見える形で公開することで、製造業を身近に感じてもらうことができる。</p>	継続中	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月2日
事業者名 (登録単位)	京濱港運株式会社
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市神奈川区
業種	H（運輸業，郵便業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	・段階的に、照明を蛍光灯からLEDへの入替を実施している ・社用車の新規導入時は、低公害車を積極的に採択している	2024年度中に本社は全てLEDへの入替を完了する	発注書、検収完了書類	2024年12月31日	
社会	YK-S-5 従業員の 人材育成・能力強化	●従業員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している	グループ正社員対象で、企業理念の浸透を図る研修をしている グループ正社員対象で、スキルアップ研修を目的とした研修を実施している	企業理念、スキルアップ研修ともに受講率100%達成	社内資料	2026年3月31日	
ガバナンス	YK-G-5 事業継続と事業継承	●事業継続や事業継承に関する取組みが進められている。	災害時に事業を復旧、継続するためのBCP（大規模自然災害用）を策定している	・現行BCPについて、実態に即した内容に改正 ・新型インフルエンザ等対策のBCPを新規に策定、施行する	社内規程、通達	2024年9月30日	
地域	YK-L-1 横浜における雇用促進	●従業員の1/2以上が横浜市民である（非正規・パートを含む）	従業員1/2以上が横浜市民である	従業員1/2以上が横浜市民であることの比率をさらに向上する 目標値：70%	人事データベース	2026年3月31日	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月2日
事業者名 (登録単位)	株式会社片桐エンジニアリング
所在地区 (登録単位)	神奈川県横浜市鶴見区
業種	E（製造業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑦進捗 (次回申請時に記述 提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-1 環境マネジメント・コミュニケーション	●環境マネジメント体制を構築している。	環境保全活動に係る教育・研修	公害防止対策・地球温暖化対策 環境法令・省エネルギー・省資源に関する教育 ①環境・防災研修会を実施（1回/年） ②外部研修会の参画（1回/年）	社内研修会議事録	2025年6月30日	
社会	YK-S-5 従業員の人材育成・能力強化	●従業員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している	公的資格等2名取得	社内研修会・外部講師による教育を四半期毎1回実施する	合格証明書	2025年6月30日	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	2018年横浜市地域貢献企業認定10年表彰	CSRの重要性を再構築して役職員への周知徹底を図るため、研修会を実施（4回/年）	アクションプラン実績表	2025年6月	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域問題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	地元企業との取引拡充を図る。県内の信用金庫主催のビジネスマッチング等参加し地元取引先を増やす	市内取引先年間3件	アクションプランによる報告書・取引先調査書	2025年6月	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月2日
事業者名 (登録単位)	株式会社シンサナミ
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市旭区
業種	F（電気・ガス・熱供給・水道業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	会社で使用する電気の一部を太陽光パネルで発電し使用している。また2023年8月に全フロアの照明をLED化した。これにより、電気使用量は昨年と比べて6.1%減、CO2排出量の削減はおよそ年間で約12000kg（12t）削減できる見込みです。	ガスメーターの検針を自動化推進することで、検針時、配送時に移動で使用していた車から出る排気ガスを削減する。現在顧客の17%に設置済。2025年3月までに40%設置目標	顧客管理台帳、設置リスト、ガソリン伝票	2025年3月	
社会	YK-S-5 従業員の人材育成・能力強化	●従業員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している	従業員一人ひとりに育成プログラムを作り、育成に合わせた集合研修、eラーニングを活用し、人材育成スキルアップを実施しています。育成プログラムの立案、進捗、評価は所属する部署の部署長が管理している。	人事HR部を立上げ、会社定着、活躍に向けた専門部を作る	年2回の従業員ヒアリングで能力向上、育成進捗の確認を行う	2025年4月	
ガバナンス	YK-G-2 情報セキュリティ	●情報セキュリティ対策を行っている。	個人情報を取り扱う責任者が、情報システムの使用状況やアクセス状況を定期的に監視している。また階層別にアクティブディレクトリを設定し、従業員・部署別に利用できる権限を設定している。従業員全員に年1回セミナーの受講実施。	情報流出を徹底的に防ぐ。現在の管理体制を維持しながら、印刷される紙の出力管理を実施して、文書管理をすることで情報漏洩リスクを無くすよう努める。2024年4月導入予定	出力レポート、個人認証カード	無期限継続	
地域	YK-L-1 横浜における雇用促進	●従業員の1/2以上が横浜市民である（非正規・パートを含む）	LPGガスを取扱う企業なので緊急時に出勤できるよう、横浜市民の従業員を維持。また新卒・中途採用の求人募集では、他の地域にお住まいの方には住宅手当を支給し、会社周辺に居住できるよう努めています。	横浜市の大学、専門学校等の採用説明会の参加。横浜市内で開催される2025年度採用説明会から2名の内定者を目標とする。	従業員名簿、参加申込書	2025年3月	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月2日
事業者名 (登録単位)	株式会社NEXT DOOR
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市青葉区
業種	D（建設業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑦進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	木材再生の技術を生かして、廃材再生作業を積極的取り組んでいる。木造解体作業によって生じた廃材・鉄材などの仕分けを行い、木材を製紙用資源となるようにいくつかの工程を経て、製紙用チップとして再利用が可能な状態で加工を行っている搬出先に搬出を行っています。	今後もリフォーム工事で発生した廃棄物、地球環境保護のためにいかに廃棄物を少なく分別の徹底をしていきます。分別作業を徹底して行き、最終的に廃棄しなければならないゴミは廃棄物の削減に努めている。搬出先の見直しも行います。また、社内でのアスベスト調査者を増やしていきます。	マニフェストのデジタル管理搬出状況の確認を行います。	現在進行形です。決算時(令和6年9月末)に見直し点検を行います。	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●職場における安全・衛生管理に取り組んでいる	毎月一回リスク管理の見直し会議を行い5S活動の実施、整理・整頓・清掃・清潔・しつけを徹底しています。毎月安全衛生委員を定め安全作業に徹底しています。定期健康診断を年一回行い結果が出た後のミーティングでは個別目標の発表を行っています。現在でもテレワークを行っており、労働時間の短縮を行っています。	引き続き5S活動を実施し、不動産リフォーム物件でのリスク管理は徹底します。現在でも一部テレワークや、リフォーム物件等、現地への直行、直帰を行いたいと思いますが、今後出勤管理や社内コミュニケーションについて、ご相談させていただきます。	デジタル化を進めて不動産リフォーム物件の訪問回数で確認できる仕組み作りを行います。	今期の事業計画で決算時(令和6年9月末)に見直し点検を行います。	
ガバナンス	YK-G-2 情報セキュリティ	●情報セキュリティ対策を行っている。	テレワークを行っている弊社では大手のVPNを利用しており、個人情報紙での印刷は研修で徹底しています。	セキュリティを含めたデジタル化は一番の課題です。社内研修を含め、デジタル化に向けた取り組みを行います。	横浜IDECや、相談窓口団体と協力を要請して結果確認を行います。	今期の事業計画で一番行いたい問題でした。決算時(令和6年9月末)に見直し点検を行います。	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域問題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	宅建免許・建設業許可・産業廃棄物収集運搬の許可を取得しており、例えば古い高齢者の多い団地を弊社又はクライアントが購入して、若い子育て世代が入居しやすい物件にリフォームを行いそのリフォームで出た廃棄物はリサイクルが可能になるまで分別作業を行っています。	宅建業では、若者子育て世代が購入しやすい物件づくりを行い、自社でも購入再販を行っています。	販売、リフォーム履歴を参照して新たな目標設定につなげていきます。	今期の事業計画で決算時(毎年9月末)に見直し点検を行います。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月2日
事業者名 (登録単位)	株式会社八洋
所在地区 (登録単位)	東京都新宿区
業種	I（卸売業，小売業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型設備変換を実施している。 ・省エネ運動・節電活動を実施している。 ・低公害車・ハイブリッド車等を導入している。 ・省エネ型自動販売機の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型設備変換を実施している。 ・省エネ運動・節電活動を実施している。 ・低公害車・ハイブリッド車等を導入している。 ・省エネ型自動販売機の取り扱い 	総務部が主観部署となり、取組みを行っています。また、省エネ自販機の取扱いは機材部が主観部署となります。	持続可能な取組みとして継続して参ります。	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●健康経営に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働を抑制する為、自販機の大型化による訪問スケジュールの見直しを行っている。 ・従業員向けにメンタルヘルスの意識啓発、研修を実施している。 ・産業医による相談体制を整備している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働を抑制する為、自販機の大型化による訪問スケジュールの見直しを行っている。 ・従業員向けにメンタルヘルスの意識啓発、研修を実施している。 ・産業医による相談体制を整備している。 	各担当部署が部度、見直しおよび実施整備を行っています。	持続可能な取組みになりますので、常に継続となります。	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料販売会社として、有事の際の地域住民への備蓄水を保管している。 ・非営利団体等への寄付活動を実施している。 ・被災地の復興支援活動を実施している。 ・地域の保全・防犯に貢献する為、交通安全協会および消防団に加入して活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料販売会社として、有事の際の地域住民への備蓄水を保管している。 ・非営利団体等への寄付活動を実施している。 ・被災地の復興支援活動を実施している。 ・地域の保全・防犯に貢献する為、交通安全協会および消防団に加入して活動している。 	本社営業本部、総務部、人事部、営業所が連携して取組み推進をしています。	持続可能な取組みとなります。継続的に取り組んで参ります。	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●横浜市と連携し、地域課題解決に向けた取組みを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動として催事における近隣自販機での飲料販売および空缶回収の徹底を図り、自販機および周辺保全に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動として催事における近隣自販機での飲料販売および空缶回収の徹底を図り、自販機および周辺保全に努めている。 	営業所長、マネージャー、ルートセールスが報連相の徹底を行い、周辺保全に努めています。	自販機設置している業者としての責任の下、永久的な実施となります。	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月2日
事業者名 (登録単位)	株式会社ユニエックスNCT
所在地区 (登録単位)	東京都品川区
業種	H（運輸業，郵便業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた取組を進めている	横浜市外となっておりますが、コンテナターミナルで新型荷役機器を導入し、カーボンニュートラル実現に向けての実証実験を進める。	2040年 カーボンニュートラル達成、ゼロエミッション	実証実験	実証実験については2024年度中	
社会	YK-S-1 安全・衛生管理、健康経営	●職場における安全・衛生管理に取り組んでいる	従来から行っている法令に定められた規模にある事業所での安全衛生委員会に加え、小規模の事業所でも委員会を設置し、全社での横串組織を立ち上げ、安全・衛生・防災に関する情報共有を安易にできるよう組織した。	③の活動を続ける 重大災害ゼロが目標	毎月1回の安全衛生委員会を各地区組織で行い、それぞれの内容を全社で共有し、年1回の大会にて取り組みについての評価及び活動方針の更新を行う	無期限での活動	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	役員・従業員・登録派遣、出向者にたいして社会的責任の意識づけとして、社内意識調査やe-ラーニングを行っている。 公正な取引、環境、IT、コンプライアンス等多岐にわたる内容で実施	③を次年度も引き続き行う	次年度の意識調査と本年度意識調査との比較	無期限での実施	
地域	YK-L-2 横浜市内の地域コミュニティへの配慮	●地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。	横浜市内港湾施設にて職場見学の実施	③に加え、コロナ禍にて中止となっている地域コミュニティでの清掃活動が再開した際には参加をしたい。	事業本部で執り行う会議内での確認	無期限	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月2日
事業者名 (登録単位)	株式会社よこはまグリーンピース
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市神奈川区
業種	M（宿泊業、飲食サービス業）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数／社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-4 廃棄物・有害化学物質の管理・3Rの推進	●廃棄物・有害化学物質を適切に管理している	横浜リユースびんプロジェクト商品「あおみかんのしずく」を店舗にて使用および販売し、リユースの推進を行っている。	お惣菜やお弁当の提供において、リユース容器の利用を進めていく。	利用実績の提供	2026/03	
社会	YK-S-8 製品・サービスを通じた社会課題の解決	●製品・サービスの提供を通じて社会課題の解決に貢献している。	弊社の商品「横浜やさいを楽しむ生ドレッシング」で、ラベル貼り作業を社会福祉法人の皆さんにお願いしている。	今後開発予定の商品で1件以上、ラベル貼り作業などを障がい者さんをお願いする。	商品実績の提供	2026/03	
ガバナンス	YK-G-4 企業の社会的責任	●事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。	店舗でのチャリティにて集まったお金で社会福祉法人さん等への寄付活動を実施したり、被災地（福島、陸前高田）の復興応援イベントを実施した。	店舗でのチャリティや復興応援イベントを今後も企画していく。	開催実績の提供	2026/03	
地域	YK-L-4 製品・サービスを通じた地域課題の解決	●地域経済に資する製品・サービスを提供している	地域資源の積極的利用、地産地消に取り組んでいる。	横浜市の18区にフォーカスした当社オリジナル18区丼の2クール目「横浜食育18区丼」を完遂する。	18区丼メニュー一覧の提供	2024/12	

(更新申請用)横浜市SDGs認証"Y-SDGs"認証申請（目標設定シート）

記入日付	2024年2月1日
事業者名 (登録単位)	行政書士法人望月事務所
所在地 (登録単位)	神奈川県横浜市神奈川区
業種	L（学術研究，専門・技術サービス）

宣言：私たちは、前回の横浜市SDGs認証制度"Y-SDGs"認証に当たり申請書類に記載した取組について現在まで継続し、一層取組を向上しています。今後も認証事業者として今回記載した内容をはじめとする先進的な取組を進めていきます。

分類	①ID 分類	②評価項目	③現在の取組み内容 (自由記述)	④今後の取組み内容と目標 (自由記述)	⑤結果の確認方法 (自由記述)	⑥目標達成期限 (いつまで)	⑧進捗 (次回申請時に 記述提出)
例：環境	YK-E-2 気候変動（脱炭素）への取り組み	●脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。	利用電力の約20%を再生可能エネルギーで調達する	利用電力の約50%を再生可能エネルギーで調達する	電力契約状況	2025年度末	
例：社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	管理職に対し、両立支援に関する研修を年1回実施している	社員全員に対し、両立支援に関する研修を年1回実施する	年度末に受講者人数/社員数を確認する	2022年度末	
環境	YK-E-4 廃棄物・有害化学物質の管理・3Rの推進	●廃棄物・有害化学物質を適切に管理している	・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。 ・有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている。	・紙の使用量低減を目指し、紙媒体から文書や記録のデジタル化を進め、紙使用のリデュースを実施する。紙媒体の顧客文書ファイルを約30%削減する。	紙媒体の顧客文書ファイルの削減状況（保存スペースの削減状況） 2023年度末7%済み/10%	2025年度末	
社会	YK-S-3 女性の活躍促進	●女性の活躍を支援するための取り組みがある。	・社内外のキャリア支援研修・セミナー参加を促進している。 ・「よこはまグッドバランス賞」を取得している。	・「えるぼし認定」を取得する。 ・「よこはまグッドバランス賞」を更新し、継続的に取得する。	認定取得・更新予定（えるぼし認定取得準備中）	2025年度末	
ガバナンス	YK-G-3 企業統治体制の構築	●企業統治体制を構築している。	・法令遵守の考え方が社内に十分浸透するよう、役職員に研修している。 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組み・ルールが整備されている。	・法令遵守の考え方が十分浸透するよう、定期的（年1回）職員研修を実施する。	研修実施後報告書を確認	2024年度末	
地域	YK-L-3 横浜における文化・芸術活動の促進	●横浜地域において、文化・芸術活動に携わっている	・自らが文化・芸術活動を行っている。 ・文化・芸術活動を行う個人や組織を支援している。	・顧客企業の社長様・ご家族様の文化芸術活動における画集・制作物等の展示スペースを継続的に設け、来所される方に鑑賞していただく。	展示状況の確認	2025年度末	